

[2018/2019]九州大学附属図書館年報

<https://hdl.handle.net/2324/2320095>

出版情報：九州大学附属図書館年報. 2018/2019, pp.1-, 2019-06. Kyushu University Library
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY LIBRARY

Annual Report 2018/2019

九州大学附属図書館年報 2018/2019



CONTENTS もくじ

Topics	3
展示会・講演会	7
国際化	9
講習会/Cute.Guides	11
新規コレクション・デジタルコンテンツ・ 九州大学学術情報リポジトリ(QIR)	12
研究開発室	13
人材育成	14
統計	15
附属図書館の組織	21
人事異動	23
出版物/貴重資料の学外展示・掲載・放映	24
図書館日誌	25



附属図書館長
宮本 一夫

はじめに

30年10月1日には、蔵書240万冊の移転を完了して、伊都キャンパスに新たな中央図書館がグランドオープンいたしました。収蔵能力350万冊、面積約2万㎡からなる中央図書館は全国国立大学図書館の中でも最大規模のものです。伊都キャンパスでは移転事業が完了し、主に初年次教育を実施する基幹教育および人文社会科学系を対象とする中央図書館と、理系を対象とする理系図書館(旧伊都図書館)の2館体制となり、これらを一体的に運営することにより、機能強化とサービス面の向上を目指しています。

30年10月1日の中央図書館グランドオープンでは、セレモニーとともに館内でのミニコンサートが開かれ、好評を博しました。また中央図書館のグランドオープンに先立ち、9月29日には、九州大学伊都キャンパス完成記念式典にあわせて、中央図書館でも開館記念式典を行いました。さらに7月31日には箱崎キャンパスにて旧中央図書館閉館式を挙行し、多くの学生教職員・卒業生などが名残を惜しまれました。あわせて記念冊子『ありがとう 箱崎の図書館たち』を発行したところです。

図書館の活動として特筆すべきは、オープンサイエンスの推進があげられます。教員活動進捗・報告システム(Q-RADeRS)と九州大学学術情報リポジトリ(QIR)を連携させることにより、リポジトリ登録件数が飛躍的に増加しました。さらにデジタルアーカイブの企画立案を行う専門職員ポストを新たに設置しました。そして、30年10月からは九州大学附属図書館所蔵のデジタル画像を無償で自由な利用を可能としました。また、これらデジタル画像を国際規格IIIF(International Image Interoperability Framework)に対応させ、高精細デジタル画像を扱うことができるようになりました。

図書館の国際化のため、中央図書館グランドオープン記念として、30年12月14日には国際シンポジウム「高等教育の国際化と大学図書館：アジアを拠点としたトップブランドへ」を中央図書館4階きゅうと commons で開催しました。アジア5か国からの研究者が集まり、英語による講演と討論が行われ、各大学図書館職員も参加しました。

また、九州大学基金の使途特定寄附事業として「附属図書館中央図書館整備事業」を始めました。本整備事業では、基本コンセプト「次の百年を担う図書館であること」のもと、①学習研究を支える図書資料の充実、②資料とサービスへの障壁なきアクセスの提供、③安全・安心で快適な環境の整備を目指します。

教育支援としては付設教材開発センターの活動があげられます。ICT活用電子副教材の開発支援に取り組んでいます。JMOC講座では「昆虫学入門—多様性を探る—Exploring Insect Biodiversity」を開設し、受講者数約1,600名に達しました。また、電子教材の著作権の取り扱いに関する講習会「電子教材著作権講習会」を開催しました。

記録資料館も中央図書館4階に移転し、30年10月1日からオープンしています。31年3月4日には農学部農業経営学教室から山田龍雄蒐集資料を受け入れました。この中には、近世熊本藩の地方文書や近代の農業利水にかかわる資料が含まれています。九州農業史研究においても重要な資料となるでしょう。

Topics

キャンパス移転の完了

17年に開始された九州大学伊都キャンパス移転事業が、30年9月に終了しました。

附属図書館でも30年度中に、箱崎キャンパスから伊都キャンパスの中央図書館・理系図書館へ約132万冊を、さらに伊都キャンパス内で理系図書館から中央図書館へ約20万冊を移転し、長らく続いた移転事業が完了しました。

附属図書館では、13年から移転に関する具体的な検討を始め、伊都キャンパスにおける新図書館の施設・設備・サービスについて計画を立案し、それらを具現化していきました。17年には理系図書館が開館し、サービスを継続しながら、段階的な建物の増築・改修などを乗り越えました。28年度には中央図書館がプレオープンし、建物の3分の1を先行開館しつつ、移転をすすめてきました。

施設・設備・サービスの整備と並行して、資料移転も計画的に実施してきました。17年の工学系部局移転を皮切りとして、21年の六本松キャンパス移転、27年の理学系部局移転、28年から30年にかけての人文社会科学系部局および農学系部局移転と、13年間で総計約320万冊の資料を伊都キャンパスへと移転しました。

本移転事業の中で、長い歴史を持つ六本松図書館、文系合同図書室、旧中央図書館はその役目を終えました。附属図書館は今後、伊都キャンパスの中央図書館および理系図書館、病院キャンパスの医学図書館、大橋キャンパスの芸術工学図書館、筑紫キャンパスの筑紫図書館という、4キャンパス5館体制で九州大学の学習・教育・研究活動を支えていきます。

中央図書館グランドオープン

グランドオープンに先立つ30年9月29日、九州大学伊都キャンパス完成記念式典にあわせて、中央図書館の開館記念式典を挙行了しました。式典では、宮本一夫附属図書館長、久保千春総長の挨拶に続いて、久保総長、丸野俊一理事・副学長、宮本附属図書館長、有川節夫第22代総長、法学府博士課程1年ハイトフ・スナトゥーラさん(学生代表)による記念のテープカットが行われました。その後、館内の見学会が開催されました。

10月1日には、ついに中央図書館がグランドオープンしました。23年に百周年を迎えた九州大学の「次の百年」を担う図書館として、学内の学習・教育・研究活動を支えるとともに、社会に開かれた知の拠点として機能します。

グランドオープンにあたっては、エントランスホールでの開館カウントダウン、そして九州大学男声合唱団コールアカデミーによるミニコンサートで来館者を出迎えました。入館してすぐの展示スペースでは、芸術工学部の学生による中央図書館のプロモーション動画を上映し、足を止める入館者の目を楽しませました。

場所を移して、4階きゅうとコモンズにてグランドオープン・セレモニーが開催されました。セレモニーでは、久保総長から挨拶、丸山修一文部科学省研究振興局参事官(情報担当)付学術基盤整備室長、引原隆士国立大学図書館協会副会長・京都大学附属図書館長から来賓祝辞が述べられました。宮本附属図書館長の謝辞でセレモニーを締めくくり、引き続き堀賀貴人間環境学研究院教授による中央図書館の施設紹介が行われました。

また、当日はセレモニー以外にも、館内の吹き抜けの大空間を会場として、九大フィルハーモニー・オーケストラ、九州大学マンドリンクラブ、九州大学アカペラサークルHarmoQによるミニコンサートも開かれました。その他にも、ヒントを頼りに館内を巡る図書館謎解きクエストや、隣接する童夢カフェのオープンなど、様々なイベントが催され、館内は開館を心待ちにしていた多くの人で賑わいました。



テープカットの瞬間



九州大学男声合唱団コールアカデミーによるミニコンサート



開館式典の様子

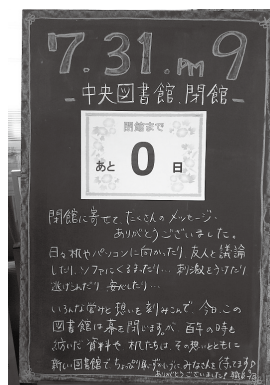
箱崎キャンパス中央図書館の閉館

30年7月31日、長きにわたり多くの利用者に親しまれた箱崎キャンパスの中央図書館が閉館しました。

閉館までの約1か月の間には、さまざまなカウントダウンイベントが実施されました。7月1日からは、毎日、図書館職員による黒板メッセージが入館ゲート前を飾りました。黒板の写真は図書館公式Instagramでも公開され、たくさんの反響がありました。また、1階から2階へ上る階段壁面を利用者のメッセージ記入スペースとして開放しました。広い壁は、図書館のみならず、箱崎キャンパスへの思いを綴るたくさんの言葉で一杯になりました。他にも、箱崎キャンパスの図書館を回顧する記念冊子『ありがとう 箱崎の図書館たち』を発行するとともに、Web上でも公開しています。

ありがとう 箱崎の図書館たち:箱崎地区図書館記念冊子
<http://hdl.handle.net/2324/1936931>

7月31日には同館の閉館式が執り行われ、現役の学生教職員はもとより、縁のある卒業生やOBがエントランスホールを埋め尽くしました。閉館式では、宮本附属図書館長による挨拶に続き、今西祐一郎名誉教授・元附属図書館長、柴田篤名誉教授、石井保廣元附属図書館事務部長から来賓祝辞が述べられました。最後は参加者全員での一本締めの後、記念撮影が行われました。閉館式終了後も、壁に思い出のメッセージを書き残すなど、21時の閉館まで名残を惜しむ人たちで賑わっていました。



図書館職員による黒板メッセージ たくさんの言葉で埋め尽くされた階段壁面



閉館式 全員で記念撮影

「伊都図書館」が「理系図書館」へ改称

伊都キャンパスのウエストゾーンにある理系図書館は、全学教育および人文社会科学系の学生・教職員へのサービス提供開始に伴い、21年4月に「伊都図書館」と改称していましたが、イーストゾーンに基幹教育および人文社会科学系を主たるサービス対象とした中央図書館が全面開館したことにより、30年10月1日に再び「理系図書館」へと改称しました。当日は、宮本附属図書館長と富浦洋一副館長・理系図書館長による看板上掲式を行い、総合的な自然科学系図書館として再出発しました。



4か国語で表記された理系図書館の看板

附属図書館中央図書館整備事業の開始

30年3月、九州大学基金の用途特定寄附事業として「附属図書館中央図書館整備事業」を開始し、附属図書館Webサイトに案内ページを設けました。

中央図書館は、附属図書館全体を統括する中核的存在であり、基幹教育、人文社会科学系教育・研究、および九州大学の国際化の拠点として機能しています。

本整備事業では、基本コンセプト「次の百年を担う図書館であること」のもと、①学習研究を支える図書資料の充実、②資料とサービスへの障

壁なきアクセスの提供、③安全・安心で快適な環境の整備を目指します。寄附金額の目標は、5,000万円です。

一定額以上のご寄附に対しては、中央図書館の書架に銘板を設置し、末永く顕彰します。

九州大学附属図書館中央図書館整備事業

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/ja/kikin/overview>

宇宙飛行士 若田光一さん来館

30年4月4日、宇宙航空研究開発機構の宇宙飛行士で本学の卒業生でもある若田光一氏が、伊都キャンパスの椎木講堂にて行われた本学入学式に来賓として出席され、同日午後には、全面開館を目前に控えた中央図書館に来館されました。

宮本附属図書館長の案内のもと、4層吹き抜けの巨大な空間や広々としたアクティブ・ラーニング・スペース「きゅうとコモンズ」をはじめ館内をご覧になった若田氏は、「素晴らしい学習環境ですね」ととても驚かれたご様子でした。また、3階エントランスにて開催していた写真展「ありがとう箱崎キャンパス」の写真に懐かしそうに見入っておられました。

見学後、若田氏は九州大学の卒業生として後輩へのメッセージを色紙に書いてくださいました。その色紙は現在、多くの学生で賑わうきゅうとコモンズに飾られています。



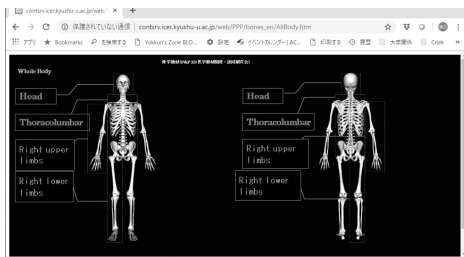
中央図書館を見学された若田光一さん

付設教材開発センターの活動

教材開発センターは、ICTを活用した質の高い電子教材を提供し、教育の質の向上を図ることを目的に様々な事業に取り組んでいます。

1. 部局との連携および学生協働によるICT活用電子副教材の開発と開発支援

基幹教育院や各部局との連携および学生協働により、日本史学教材、中国文学教材、放射線治療トレーニング教材、歯科治療トレーニング教材など、3次元CGやウェブ技術を活用した双方向型電子教材の開発を過年度より継続して実施しています。基幹教育科目の英語化支援について、30年度は、「情報科学」の小テストの英語化を実施しました。これらの電子教材は授業等で活用されています。



「骨学」教材の英語化

2. 映像教材等の撮影・編集・公開

本学の授業、講演会、講習会、各種イベント等を撮影・編集し、本学Webページをはじめ、YouTube、iTunesU、OCWにより31年3月末現在約1,100件の動画等を学内外に広く公開しています。また、今年度始まった高校生対象の教育プロジェクト「九州大学未来創成科学者育成プロジェクト(QFC-SP)」のプライマリーコースの講義収録と公開を担当しました。

26年度から継続して制作・開講しているJMOOC講座は、29年度に制作完了していた「昆虫学入門-多様性を探る-Exploring Insect Biodiversity」を30年夏期に開講しました。受講者数約1,600名、修了率50%以上という記録的な人気講座となりました。

28年度から取り組んでいる「代表的研究者紹介ビデオ」(先生の森【動画版】)について、31年3月末時点で22名の制作を終え公開しています。

3. 電子教材の著作権に関する取り組み

電子教材を制作する際の著作権の取り扱い等について解説する「電子教材著作権講習会」を全学FDとして開催しました。(30年度:4回開催、27名参加) また、30年5月25日に著作権法の一部を改正する法律(30年法律第30号)が公布され、補償金制度などについて関係各所で議論・検討が成されています。これに対応すべく、大学学習資源コンソーシアム(CLR: Consortium for Learning Resources)でも新たに「著作権法改正対応ワーキンググループ」が組織されました。本センターの教員は、当該WGメンバーとして活動しています。

4. 教育改革推進本部「教育方法・教材開発部門」に係る取り組み

昨年度設置された「九州大学教育改革推進本部」の「教育方法・教材開発部門」に係る取組として、30年度は、映像教材等の活用状況調査を実施し、その結果等を、ICT活用教育の啓発を目的に開催した「電子教材開発者向け講習会」(30年12月25日)にて報告しました。また、「ラーニングアナリティクス部門」が開催した「M2B講習会」にて教材開発センターの活動報告をしました。さらに、高大連携の取組みとして、30年6月13日に西南学院中学校・高等学校を訪問し、教材開発センターの取組みの紹介と高大連携について同校の教員の方々と議論しました。



電子教材開発者向け講習会の様子



オープンサイエンスの取組

●オープンサイエンスの推進

近年のオープンサイエンスの世界的な流れに呼応し、本学においても、所蔵資料のオープン化、オープンアクセス、オープンデータの取り組みを精力的に進めています。

特に30年度は、中央図書館への人文社会科学系資料の集中化を機にデジタルアーカイブの企画立案等を担う専門職員ポストを新たに設置し、今後のデジタル化推進体制を整えるとともに、以下のシステム面および制度面の整備により、デジタル化公開画像のオープン化を実現しました。

オープンデータについても、九州大学学術情報リポジトリ専門委員会の下のワーキンググループにおいて本学のデータポリシーの検討を開始するとともに、関係部署との連携により研究データ管理基盤に係る全学的な検討体制の立ち上げを行いました。

●デジタル化画像の二次利用を自由化

30年10月より、九大コレクションで公開している九州大学附属図書館所蔵資料のデジタル化画像について、事前の利用申請をすることなく、無償で、改変・商用も含めた自由な利用を可能としました(一部資料を除く)。原資料の著作権保護期間が満了しており、パブリックドメインであると明記された画像を対象とし、教育・研究活動にとどまらず、様々なシーンでの活用が期待されます。

●「九大コレクション」が国際規格IIIFに対応

近年、世界各国のデジタルアーカイブシステムにおいて、国際規格IIIF (International Image Interoperability Framework:トリプルアイエフ)の採用が進んでいます。30年4月、九大コレクションでも対応し、本学の貴重書等の高精細デジタル画像を、使いやすく高性能なIIIF対応ビューワーで利用できるようになりました。国際標準を採用したメリットのひとつとして、本学の画像と他のIIIF対応機関の画像を簡単に比較検証できるようにもなっています。



IIIFビューワー画面

山田龍雄蒐集資料の受入

記録資料館九州文化史資料部門では、30年3月4日、農学部農業経営学研究室で保管されていた山田龍雄蒐集資料を受け入れました。

山田龍雄名誉教授(1913~1986)は、旧制佐賀中学から旧制佐賀高等学校理科乙類をへて、九州帝国大学農学部農学科へ進学しました。同学科卒業後、朝鮮総督府全羅北道小作管補をへて、昭和16(1941)年2月に九州帝国大学農学部講師、ついで同年6月助教授、昭和35(1960)年には九州大学農学部教授となります。昭和47(1972)年には農学部農業経済講座から同農業経営学講座の第三代教授に就任して昭和52(1977)年に定年退官を迎えました。学位論文「鹿児島藩における小農民経営の自立と分解に関する研究」をはじめ、『鹿児島県農地改革史』(共著、鹿児島県、1954年)や『佐賀県農業史』(共著、佐賀県、1967年)など、戦後における九州農業史研究に大きな足跡を残した研究者です。

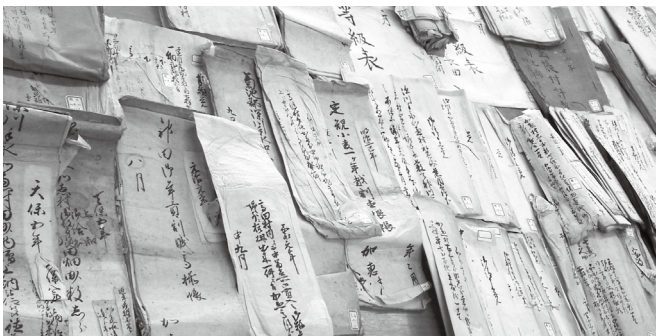


図1 受け入れられた古文書

今回受け入れた資料群には、熊本藩の地方文書が含まれていました。江戸時代、熊本藩の村々では、数か村から多いところでは七十か村程がまとまって「手永(てなが)」という行政単位を構成していました。その手永のなかの一つの村で作成された、村の畑の耕作者を書き上げた帳面が含まれていたのです。そのほかにも、明治から大正期にかけての農業利水にかかわる資料が沢山ありました。何れも旧庄屋の家に伝わった古文書だと考えることができます。(図1)

また、『鹿児島県農地改革史』の編纂に関連する手稿も見つかりました。(図2)同書の編纂では、法制史の服藤弘司東北大学名誉教授や、経済史の秀村選三名誉教授が手伝いをされていたというエピソードが伝わっており、65年前に実践された、農学、法学、経済学の、文系理系の垣根をこえた共同研究の記録としても興味深いものです。

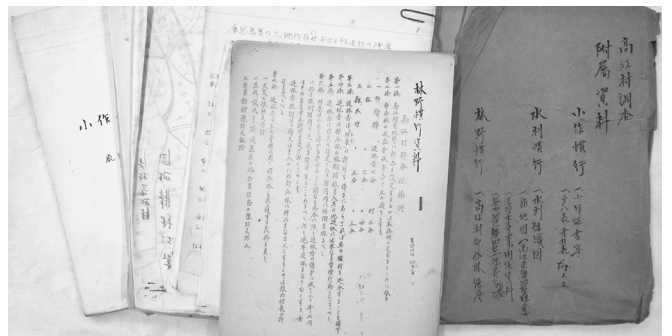


図2 『鹿児島県農地改革史』編纂に関連する手稿

展示会・講演会 Exhibitions & Seminars

「東アジアの交流と文学」シンポジウム・公開講座「物語の〈終わり/始まり〉:文学の現在、わたしたちの未来」

【日 時】平成31年2月8日(金) 15:00~17:30
 【会 場】九州大学(伊都)中央図書館4階きゆうと commons
 【主 催】九州大学QRプログラム・特定領域強化プロジェクト
 「新資料発見に伴う東アジア文化研究の多角的展開、および国際研究拠点の構築」
 (代表・中里見敬(言語文化研究院教授))
 【共 催】九州大学附属図書館

本シンポジウム・公開講座は、過去に5回に渡って開催された「東アジアの交流と文学」国際シンポジウム(第1回は30年2月に九州大学附属図書館と共催で、「『春水』手稿と日中の文学交流:周作人、冰心、濱一衛」をテーマとして開催)の締めくくりとして、現在の日本語文学の最先端で活躍されている2人の作家、深沢潮氏と温又柔氏をお招きし、公開対談会として開催されたものです。

波瀾剛比較社会文化研究院教授の司会進行のもと、第一部は深沢氏と温氏の対談、第二部は辻野裕紀言語文化研究院准教授も交えた鼎談が行われ、最後の質疑応答ではフロアーとの活発な議論が展開されました。

これにあわせて、開催日の前後1か月にわたって、中央図書館および理系図書館にて両作家の著書展示を行い、好評を博しました。

【プログラム】.....
 進行:波瀾剛(比較社会文化研究院教授)
 開会の辞:宮本一夫(附属図書館長)
 第一部「作家が、大いに語る」 対談:深沢潮×温又柔
 第二部「作家に、大いに問う」 鼎談:深沢潮×温又柔 ×辻野裕紀(聞き手:言語文化研究院准教授)
 フロアーとの質疑応答



深沢氏と温氏による対談



会場の様子

シンポジウム「オープンデータと大学」

【日 時】平成31年1月30日(水) 13:30~17:00
 【会 場】九州大学(伊都)中央図書館4階きゆうと commons
 【主 催】九州大学大学院統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
 【共 催】九州大学附属図書館、九州大学大学文書館、九州大学大学院人文科学研究院
 【後 援】九州地区大学図書館協議会、日本学術振興会科学研究費「デジタルヒューマニティーズを促進するオープンデータ環境およびシステム基盤の構築」(代表・石田栄美(附属図書館准教授))、同「国際化、情報化環境における歴史資料の公共的利活用と管理に関する基礎的研究」(代表・岡崎敦(人文科学研究院教授))
 【参加者】37名

本シンポジウムは、オープンデータ、デジタルヒューマニティーズに興味を持つ研究者、学生、図書館・文書館等の職員を主な対象として開催されました。

今回は、特に人系研究を対象とするオープンデータの射程について、具体的な制度、管理運営上の課題とも関連づけながら、現状を整理するとともに、課題について検討し、認識の共有をはかりました。登壇者による各報告では、国内の先端的な取り組みが紹介され、活発な意見交換がなされました。

中央図書館開催イベント

中央図書館を象徴する大きな吹き抜け空間やきゆうと commonsなどを活用したイベントを継続して開催しています。12月19日には「Happy Holidays!コンサート」を開催し、混声合唱団と吹奏楽団(サクソ四重奏)が楽しい演奏をしてくださいました。また、各イベントと連動した関連図書展示も一緒に行うようにしています。

新たな利用者の掘り起こしと図書館の継続的な利用をねらって、図書館は「行くと楽しい場所」「いろんな知識や経験を得ることができる場所」となるよう、これからも折々の季節と関連したイベントや展示を定期的に開催する予定です。



Happy Holidays!コンサート



イベントと連動した関連図書展示

図書館TA (Cuter) による企画イベント

図書館に自律的な学びの雰囲気を生み出すため、大学院生の図書館TA (Cuter) が自身の専門知識や経験を活かしたイベントを、図書館職員と協働して企画・実施しています。

〈主なイベント〉

●Quricon

理学府の院生を中心に始まった学際交流団体と図書館TA (Cuter) が合同企画する研究交流イベントです。図書館TA (Cuter) も毎回発表者として登壇し、自身の研究内容を専門外の人にも分かりやすく説明します。

●九大101冊読書会

先生方から推薦いただいた“九大100冊に追加したい1冊”に関する読書会を29年度から実施しています。30年度は、輪読形式だけでなく、課題図書内の実践の再現や内容に関するクイズなど、新たな試みを取り入れました。

●Cuter本棚

図書館TA (Cuter) が考えて設定したテーマに関するおすすめの本を選び、コメントを付けて展示しています。30年度は、九大101冊読書会や中央図書館グラントオープンに関するテーマを取り上げました。



Cuter本棚

芸術工学図書館「サイエンス・プランター」

【会場】九州大学芸術工学図書館1階AIVEA

【参加者】130名(全8回の合計)

芸術工学図書館ではサイエンスカフェ形式で気軽な雰囲気のセミナー「サイエンス・プランター」を開催しています。本セミナーでは教職員や学生が行う研究や活動を紹介し、新たな興味の『芽』を育むことをコンセプトとしています。

〈各回紹介(30年度 8回開催)〉

【第1回】4/25 脇山真治教授(芸工)「映像展示の世界～劇場映画やテレビを超える、ちょっと気になる拡張映像～」

【第2回】5/31 坂口将史さん(芸術工学専攻博士 図書館TA)「撮れないものを撮るために～特撮発展の流れ～」

【第3回】6/21 井上光平准教授(芸工)「ノンフォリアリステックレンダリングの研究紹介」

【第4回】7/30 加藤悠希准教授(芸工)「美しくない古建築の価値」

【第5回】9/19 秋田直繁助教(芸工)「デザインエンジニアリング～複数の思考の世界を歩き来するデザインの態度～」

【第6回】10/29 大塚正斗さん(芸術工学専攻修士 図書館TA)「揺れる創造性～クリエイティブになるためには～」

【第7回】11/22 城一裕准教授(芸工)「ポストデジタル以降の音を生み出す構造」

【第8回】3/6 稲村徳州助教(芸工)「ポスト人間中心へ向かうけものみち」

医学図書館シリーズ展示～図書館にはこんな本あります～

【期間】平成30年6月5日(火)～平成31年3月29日(金)

【会場】九州大学医学図書館1階ロビー

総合大学であるメリットを活かし、医学系の学生や研究者にとって有益な本を集めました。テーマを入れ替え、医学図書館1階ロビーにて展示しました。(全6回)

〈テーマ一覧〉

1. 人前で話す極意、人と話す極意
2. 休日にじっくり読みたい本、通勤・通学中にさくっと読める本
3. カワイイ本、旅に出たくなる本
4. 先生おすすめ!学生時代に読んでおきたい1冊
5. 電子BOOK読み放題
6. 研究活動に必ず役に立つ論文作成、プレゼンの本

医学図書館「櫻井恒次郎文庫」展示

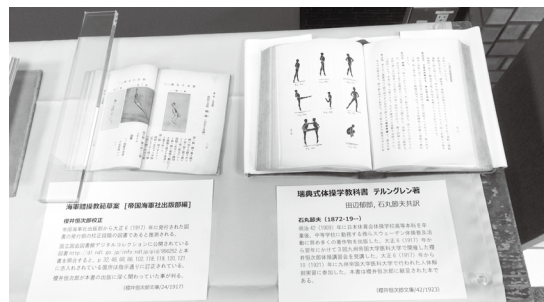
【日時】平成31年3月15日(金)～3月29日(金)

【会場】九州大学医学図書館1階ロビー

【展示資料】「櫻井恒次郎文庫」の中から資料16点、「文庫紹介文」と「櫻井恒次郎略歴」

医学図書館所蔵の文庫の中には、体操博士と称され「櫻井式体操」で有名な九州帝国大学解剖学教室教授櫻井恒次郎(1872～1928)旧蔵書「櫻井恒次郎文庫」があります。同文庫を調査すると櫻井恒次郎以外にも多数の体操・体育教育者や研究者(大河ドラマ「いだてん」に登場する永井道明や野口源三郎を含む)が体操普及のために活動し、著作物を出版していたことが判明しました。明治、大正、昭和の体育活動を知る上

でも貴重な資料が医学図書館に存在することをアピールするために、今回展示を行いました。



展示の様子

国際化 Internationalization

国際シンポジウム「高等教育の国際化と大学図書館:アジアを拠点としたトップブランドへ」

【日 時】平成30年12月14日(金) 13:00~17:15
 【会 場】九州大学(伊都)中央図書館 4階さゆうと commons
 【主 催】九州大学附属図書館
 【共 催】九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻
 【後 援】九州地区大学図書館協議会
 【参加者】5か国56名(講演者、モデレータ、事務局を含めず)

九州大学伊都キャンパス完成記念、中央図書館グランドオープニング記念行事として、高等教育の国際化と大学図書館をテーマに国際シンポジウムを開催しました。

留学生の急激な増加、国際的な教育プログラムの導入など、高等教育の国際化は急速に進展し、近年はアジア域内での学生移動も活発に行われるようになってきました。

本シンポジウムでは、30年10月1日に全面開館した国際化の拠点となる中央図書館にて、九州大学の事例を紹介するとともに、タイおよび台湾から2名の有識者をお招きし、同国の大学図書館における国際化支援の先進的な取り組みについて講演していただきました。アジアから多数の高等教育機関関係者の参加があり、パネルディスカッションでは闊達な意見交換が行われました。今後大学図書館が国際化の面で高等教育に不可欠な存在であり続けるため、その役割や意義等について見識を深める良い機会となりました。

なお、本シンポジウムはALIRG 2018 (10th Asia Library and Information Research Group Workshop)のイベントにも位置付けられました。

【プログラム】

講演 Kulthida Tuamsuk氏 (Khon Kaen University)
 講演 Hao-Ren Ke氏 (National Taiwan Normal University)
 講演 宮本一夫 (九州大学)
 パネルディスカッション司会 石田栄美 (九州大学)

講演資料は下記URLで公開しています。

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/news/symposium-201812>



会場の様子



講演者によるパネルディスカッション

ALIRG2018 (10th Asia Library and Information Research Group Workshop)

【日 時】平成30年12月15日(土) ~ 16日(日)
 【会 場】九州大学(伊都)イースト1号館LSS講義室
 中央図書館4階さゆうと commons 他
 【主 催】Asia Library and Information Research Group
 【共 催】九州大学附属図書館
 九州大学統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻

アジア各国から図書館情報学分野の研究者が集うAsia Library and Information Research Groupのワークショップを共催しました。

中央図書館4階さゆうと commonsを会場としたポスターセッションには、附属図書館からも3点のポスターを展出了。うち1点、図書館TA (Cuter)との協働による授業外学習支援の取り組みを紹介したポスター

には、特に多くの質問が寄せられ、図書館TA (Cuter)と図書館職員との能動的な姿勢が評価されるなどし、Best Poster Awardを受賞しました。



ポスターセッションで発表する図書館職員

九州大学附属図書館出展ポスター

Collaboration with the Library TA (Cuter) in Out-of-Class Learning Support at Kyushu University Library

<http://hdl.handle.net/2324/2198509>

"New Central Library Countdown Project" at Kyushu University : Promotional Activities focusing on users' experiences

<http://hdl.handle.net/2324/2198529>

Strategy and Actions towards Open Science in Kyushu University Library

<http://hdl.handle.net/2324/2198510>

国際化拠点としての図書館

高等教育の国際化が急速に進む中、国際化拠点図書館として開館した中央図書館では、さまざまなイベントや研修が活発に開催されています。

【国際部や教職員による研修・イベント】(一例)

研修・イベント名	開催期間
グローバル人材養成研修 (職員向け英語研修)	平成30年10月～12月
大学の国際化に関する学生懇談(文部科学大臣政務官視察)	平成30年11月6日
留学の話知らNight!	平成30年12月5日
国際シンポジウム「高等教育の国際化と大学図書館:アジアを拠点としたトップブランドへ」	平成30年12月14日
ALIRG2018 (10th Asia Library and Information Research Group Workshop)	平成30年12月15日～16日
韓国青年訪日団と九大生の交流会	平成31年1月23日
スツィヨン女子大学・共創学部短期協働学習プログラム	平成31年2月13日
国際シンポジウム「東アジアの交流と文学」 (深沢潮氏と温又柔氏を招聘)	平成31年2月8日
日中若手国際シンポジウム (第303回中国文藝座談会)	平成31年3月9日～10日

【折紙展示と折り紙教室】

31年1月にはお正月展示として、九州大学折紙同好会ORUTOの協力を得て、「折り紙の世界」と題した折り紙作品と関連図書の展示および、ORUTOメンバーによる折り紙教室を開催しました。折り紙教室では、身近な伝統手芸の一つである「折り紙」紹介と実演・指導を通じて、留学生に日本文化に親しんでもらい、日本人学生との交流機会を提供しました。本学で学ぶ交換留学生と日本人学生・職員と一緒に作品を作ることで、有意義な国際交流の場となりました。



ORUTOによる折り紙作品(上)
折り紙教室の様子(下)



資料交換

九州大学 → 慶北大学校 九州大学発行の紀要12冊を寄贈

海外往来

—往訪—

【訪問者】石田 栄美(研究開発室准教授)

渡邊由紀子(学術サポート課長・准教授)

【日 程】平成30年11月19日～11月22日

【訪問先】ハミルトン(ニュージーランド)

【目 的】Asia-Pacific iSchools Regional MeetingおよびThe20th International Conference on Asia-Pacific Digital Libraries (ICADL2018)に参加

【訪問者】林 豊(eリソース課システム企画係長)

【日 程】平成31年3月14日

【訪問先】ドバイ(アラブ首長国連邦)

【目 的】EBSCO社アジア・中近東・北アフリカ地域アドバイザリーボード会議に参加

—来訪—

【訪問者】Kulthida Tuamsuk氏(タイ王国 コーンケン大学人文社会科学部准教授)

Hao-Ren Ke氏(台湾師範大学情報学研究所教授)

【日 程】平成30年12月14日～12月15日

【目 的】国際シンポジウム「高等教育の国際化と大学図書館:アジアを拠点としたトップブランドへ」およびALIRGにおける講演



EBSCO社アジア・中近東・北アフリカ地域アドバイザリーボード会議

講習会/Cute.Guides Library Workshop / Cute.Guides

◆講習会

学習・研究を行う上で必要な文献を効率よく探し活用できるよう、学生・教職員を対象に様々な講習会を開催しています。図書館側であらかじめ内容や日時を設定し広く参加を呼びかける「図書館企画」の講習会、教員からの要望に応じて内容や日時を全てカスタマイズして行う「オンデマンド」の講習会を並行して実施しています。

〈注目の講習会〉

●1年生向けレポートの書き方講座／実験レポート講座／プレゼン講座

基幹教育の授業支援として図書館TA(Cuter)と協力して開催している講習会です。受講者にとって一層満足度の高い講座にするために、図書館TA(Cuter)と図書館職員が議論を重ね、内容をブラッシュアップしています。30年度は、実験レポート講座について、自然科学総合実験を担当する教員からのフィードバックを反映させるとともに、eラーニング教材を作成して、九州大学のM2B学習支援システムから公開しました。

●文献の探し方講座

日本語・英語文献を探す検索ツールの活用法に関する講習会を、前期と後期にそれぞれ実施しました。前期の講座は新入大学院生を対象とし、研究生生活のスタートに弾みをつける有益な機会となりました。講習会は日本語だけでなく、留学生を対象に英語でも行いました。

●文献整理法講座

文献管理ツールであるMendeleyとEndNote basicの使い方を説明する講習会です。昨年度までは箱崎地区・伊都地区・病院地区で開催してきましたが、30年度は大橋地区・筑紫地区でも講座を開催しました。

●英語論文と一緒に読んでみよう会

医学系学府博士課程4年の図書館TA(Cuter)が講師となり、英語論文を読むことに苦手意識を持っている初心者を中心に、読み方のコツを教えるワークショップを実施しました。

◆Cute.Guides

Cute.Guidesは附属図書館がWeb上で提供する調べ方ガイド・学習ガイドです。25年3月の正式公開以来、図書館職員、図書館TA(Cuter)、教員が、様々なコンテンツを作成し、テーマごとの解説とともに参考図書等の役立つ情報源を紹介しています。

図書館ウェブサイト>Cute.Guides

<https://guides.lib.kyushu-u.ac.jp>

ガイド総数 173点(31年3月31日現在)

ガイドへのアクセス数 1,139,130ページビュー(30年度)

<30年度に公開した主なガイド>

●シリーズ「私の卒論ができるまで」

大学院生である図書館TA(Cuter)が、学部時代にどのように卒業論文に取り組んだかを詳しく語るシリーズガイドです。30年度は農学部卒

30年度は移転完了に伴い、新中央図書館での講習会を10月から本格的に開始しました。また、学部1年生を対象とした基幹教育の必修科目である「課題協学」のガイダンスにおいて、図書館職員が図書館の使い方を説明する時間が設けられたことにより、「オンデマンド」講習会の受講者数が大幅に増加しました。

平成30(2018)年度実績

●種類別

会場	図書館企画		オンデマンド		計	
	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
箱崎(文系)	1	16	0	0	1	16
箱崎(理系)	11	202	12	211	23	413
伊都(中央)	15	204	15	2,698	30	2,902
伊都(理系)	50	803	18	579	68	1,382
病院	41	447	8	262	49	709
芸工	6	34	0	0	6	34
筑紫	8	56	1	13	9	69
合計	132	1,762	54	3,763	186	5,525

●受講者別

会場	受講者数					計
	教職員	院生	学部生	学内その他	学外者	
箱崎(文系)	2	11	3	0	0	16
箱崎(理系)	20	215	143	35	0	413
伊都(中央)	54	108	2,711	27	2	2,902
伊都(理系)	72	177	1,079	43	11	1,382
病院	146	295	229	39	0	709
芸工	3	27	4	0	0	34
筑紫	5	51	4	9	0	69
合計	302	884	4,173	153	13	5,525

●実施言語別

言語	回数	受講者数
日本語	163	5,224
英語	19	238
日英混合	4	63

●講師別

講師	回数	受講者数
図書館職員	139	4,793
図書館TA(Cuter)	24	462
外部講師	23	270

のCuterによるガイドが加わり、本シリーズによるガイドは合計8点となりました。

●英語論文の読み方

英語論文の論理展開を明らかにし、具体例を使いながら、どこに注目しながら読むといいのかを図書館TA(Cuter)が解説しています。さらに、英語論文によく出てくる表現をまとめて紹介しており、これから英語論文を読む人にとって役に立つガイドとなっています。

●九大生の知らない書評の世界

新聞や雑誌などでよく見かける「書評」について、「知る」「読む」「する」という3つの観点で図書館TA(Cuter)が分析を行っています。普段は何気なく読むことが多い書評の仕組みを詳しく知ることができるガイドです。

新規コレクション

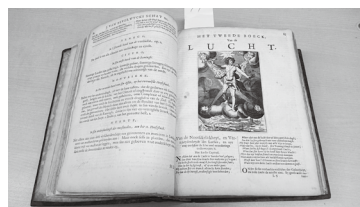
◆寄贈コレクション

●ミヒエル文庫(医学図書館所蔵)

ヴォルフガング・ミヒエル九州大学名誉教授・元言語文化研究院院長より、貴重な古医書群459点を寄贈いただきました。今後、目録整理および電子化をすすめていきます。

この古医書群には、医学・薬学・本草学関連の写本、板本、一枚刷りなどが含まれます。特に、17～18世紀の南蛮流・紅毛流医学関連の写本ならびに日本の薬草や医薬品に言及した同時代の洋書は、注目に値するものです。

既に医学図書館貴重書展示室に収蔵している45点の「ミヒエル文庫」と併せて、全504点のコレクションとなりました。



『Joh. van Beverwycks Wercken der genees-konste... / verciert met historien, kopere platen, als oock vermeerderd met verssen van den ed. Jacob Cats, t' Amsterdam : By de Weduwe van J.J. Schipper . 1672』



『顔之図』

デジタルコンテンツ

●貴重資料のデジタル化画像の公開

所蔵貴重資料の画像公開については、教員との連携により学内外の資金を活用したデジタル化を継続的に実施するとともに、28年度からは国文学研究資料館の歴史的典籍ネットワーク事業の拠点大学として和本のデジタル化を進めています。

30年度の公開点数 121点 4,913コマ
累積の公開点数 4,200点、181,454コマ(平成31年3月31日現在)

<30年度に公開したデジタル化画像>

雅俗文庫(71点)

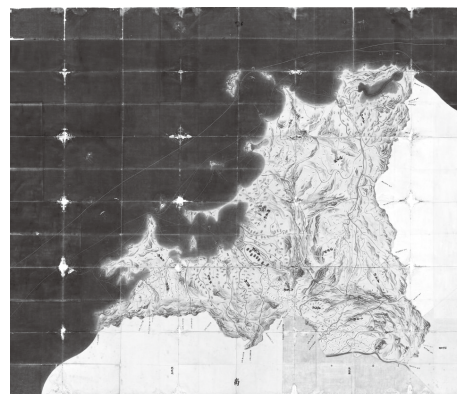


舞台扇3巻(存2巻)中

柳花集

今回の雅俗文庫デジタル化作業は、平成29年度九州大学P&Pつばさプロジェクト「デジタル人文学における研究資源オープン化と研究プラットフォーム構築に向けた基盤的研究」(研究代表者:石田栄美(附属図書館准教授))によって行われました。

他、古典籍資料(48点)



廣瀬文庫『御國繪圖』

九州大学学術情報リポジトリ(QIR)

平成30年度新規登録件数 2,457件

うち

> OA方針対象コンテンツ 1,145件

> Q-RADeRSからの登録 237件

累積登録件数 37,251件(平成31年3月31日現在)

※OA方針対象コンテンツ：学術雑誌論文・会議発表論文・紀要論文

<30年度に登録した主なコンテンツ>

- ・『教育基礎学研究』(九州大学大学院人間環境学府教育哲学・教育社会史研究室)1-14(全号)
- ・『奥田八二日記研究会会報』(奥田八二日記研究会(九州大学大学文書館内))1
- ・『医学図書館ニュース』(九州大学附属図書館医学分館)1-35(全号)

主な広報活動

- ・新任教員FDでのOA方針案内資料の配布
- ・言語文化研究院FDでの登録説明会の実施

研究開発室 Research & Development

平成30年度研究開発室研究開発事項

● 総括

研究開発の総括	宮本 一夫 (附属図書館長、副学長)	大学における学術情報の収集、加工、蓄積、提供及びその他図書館が行う学習・教育・研究支援活動の改善に関する事項のうち、九州大学附属図書館研究開発室において行う課題を指定し総括する。
---------	--------------------	---

● I 学習・教育活動との連携に関する分野

図書館による学習・教育支援に関する調査研究	富浦 洋一 (副館長) 石田 栄美 (研究開発室) 内山 英昭 (研究開発室) 山田 政寛 (基幹教育院)	九州大学における学習・教育活動と連携した新たな教育支援のあり方について調査研究を行う。
図書館による教材開発および著作権処理に関する調査研究	岡田 義広 (付設教材開発センター) 吉田 素文 (特別研究員) 金子 晃介 (サイバーセキュリティセンター) (協力教員)	インストラクショナルデザインに基づいた教材、教育方法の研究開発と、教材作成にかかる著作権処理問題について調査研究を行う。

● II コンテンツ形成および学術情報発信に関する分野

九州大学所蔵資料および資料保存に関する調査研究	川平 敏文 (人文科学研究院) 中里見 敬 (言語文化研究院) 永島 広紀 (韓国研究センター) 三輪 宗弘 (付設記録資料館) 梶嶋 政司 (付設記録資料館) 古賀 康士 (付設記録資料館) Wolfgang Michel (特別研究員) 和仁 かや (特別研究員)	九州大学が所蔵する貴重資料、コレクション等について、由来や内容、価値等の調査や、画像及び書誌データベース作成等についての調査研究を行うとともに、図書館における資料保存・管理体制等についての調査研究を行う。
図書館に係る学術情報の流通および発信に関する調査研究	富浦 洋一 (副館長) 内山 英昭 (研究開発室) 畑埜 晃平 (基幹教育院) 廣川 佐千男 (情報基盤研究開発センター) 伊東 栄典 (情報基盤研究開発センター) 池田 大輔 (システム情報科学研究院)	学術情報資源をより効果的に発信するために、発信機能の高度化と検索システムに関する研究開発を行う。

● III 図書館運営に関する分野

図書館における高度専門知識を有する人材育成に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 岡崎 敦 (人文科学研究院)	図書館職員の専門性および次世代を担う情報専門職の育成をはかるための調査研究を行う。
図書館サービスの創出に関する調査研究	石田 栄美 (研究開発室) 内山 英昭 (研究開発室) 畑埜 晃平 (基幹教育院)	図書館利用状況の分析や国内外図書館の視察等にもとづき、新たなサービスの創出に関する調査研究を行う。

● 県立福岡病院旧蔵書の調査・文庫化

医学図書館には、養生館から京都帝国大学福岡医科大学に至る九州大学の源流・前身機関の蔵書が継承・収蔵されています。そのうち、県立福岡病院(1888~1903)の旧蔵書については、貴重書庫と保存書庫にややまとまって収蔵されており、30年度は保存書庫収蔵分の調査を行いました。

県立福岡病院は、明治21(1888)年4月に開院し、大森治豊(1852~1912)が病院長・外科部長を兼務し、熊谷玄直(1853~1923)が副院長・内科部長を兼任しました。保存書庫収蔵分の旧蔵書は、明治20(1887)年から明治33(1900)年に発行された医学専門書が中心で、深緑色の表紙で製本された書籍の背には金箔の文字で書名と所蔵機関名「県立福岡病院」が記されています。明治時代の病院でどのような医学書が使用され、管理されていたかを示すものであり、医学史、大学史上注目される資料群です。

県立福岡病院旧蔵書は、「県立福岡病院文庫」として整理し、九大コレクション上で抽出できるようにし、また、ウェブサイトの所蔵コレクションに追加・公開しました。



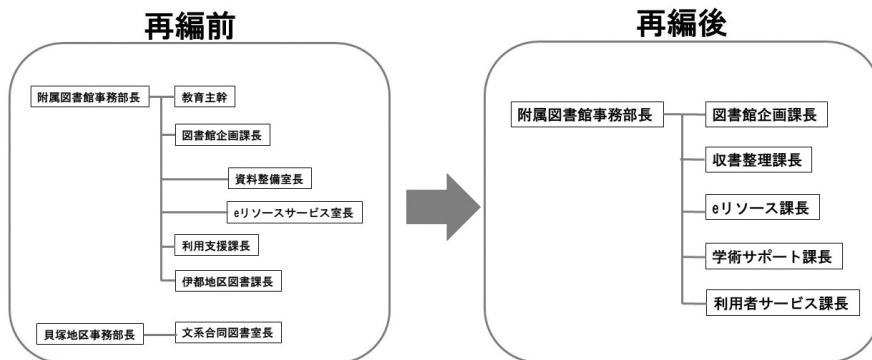
県立福岡病院文庫(医学図書館保存書庫)

附属図書館の事務組織再編

附属図書館では人的資源を効果的に配置・活用し、ビジョンを推進できるようにするため、30年10月1日付けで移転を契機に事務組織の改編を下記のように実施しました。

- ・ 研究開発室、図書館 TA (Cuter) と連携した授業外学習支援と研究支援体制の強化を目的とした学術サポート課を新設
- ・ 電子ジャーナル等に関わる価格交渉力および学内外調整力の強化・オープンサイエンスの推進を目的としてeリソースサービス室をeリソース課へ改組

- ・ 学生用資料、研究用資料等の整備を行う事務組織の強化を目的として資料整備室を収書整理課へ改組
- ・ 伊都地区図書課を廃し、利用者サービス課(利用支援課を改称)の下に再編
- ・ 人文社会科学系資料の集中化を機に、電子化・資料保存を担当する専門職員を新設
- ・ 学内他部局との連携強化と人材育成のため、図書系職員を事務系へ配置する学内人事交流の実施



現在の図書館の動向に関する研修会

植松貞夫筑波大学名誉教授・元筑波大学附属図書館長を講師としてお呼びし、「公共図書館を取り巻く環境の変化」というタイトルで現在の図書館の動向について図書系職員に向けて講演していただきました。ライブラリーサイエンスの学生も含め24名の参加者があり、自己研鑽を深める良い契機ともなりました。

- 【開催日】平成31年1月21日(月)
- 【参加者】24名
- 【講師】植松貞夫筑波大学名誉教授・元筑波大学附属図書館長
- 【内容】「公共図書館を取り巻く環境の変化」について



平成30年度初任者研修

新任図書系職員に対し、九州大学附属図書館の理念、目標や現在取り組んでいる主な事業等を理解させるとともに、図書館業務遂行に必要な基礎知識を習得させることを目的として実施しています。これらの講義は、初任者以外の職員も聴講し、自己研鑽を深める契機ともなっています。

- 【開催日】平成30年5月9日(水)～5月10日(木)
- 【プログラム】
 - 附属図書館の概要と図書館業務の流れ
 - 統合移転と新図書館計画
 - 図書館Webサイトと業務システム
 - ネットワークとセキュリティ



統計 = 利用サービス = Statistics

平成30(2018)年度

			中央図書館 Central Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	合 計 Total
年間開館日数 Opening days (日)	平日 Weekday		201	240	239	239	238	86	1,243
	土曜 Saturday		41	47	29	47	48	0	212
	日曜・祝日 Others		52	64	4	0	61	0	181
	合 計 Total		294	351	272	286	347	86	1,636
入館者数 Visitors (人)	教職員 Faculties		19,873	9,060	2,610	7,759	11,484	13	50,799
	学 生 Students		273,740	112,542	27,249	31,038	329,126	45,484	819,179
	学外者 Others		15,971	4,897	1,415	5,034	4,453	0	31,770
	合 計 Total		309,584	126,499	31,274	43,831	345,063	45,497	901,748
貸出冊数 Circulations(Items) (冊)	教職員 Faculties		16,994	4,074	1,770	1,487	10,314	19	34,658
	学 生 Students		78,133	11,631	11,882	5,111	62,171	610	169,538
	学外者 Others		493	360	390	226	375	0	1,844
	合 計 Total		95,620	16,065	14,042	6,824	72,860	629	206,040
貸出者数 Circulations(Users) (人)	教職員 Faculties		8,806	2,594	917	1,095	6,176	13	19,601
	学 生 Students		45,468	8,229	5,755	3,725	38,428	466	102,071
	学外者 Others		309	148	199	134	231	0	1,021
	合 計 Total		54,583	10,971	6,871	4,954	44,835	479	122,693
文献複写等件数 Resource Sharing(copies) (件)	学外からの受付(国内) Requests(Domestic)		1,186	9,446	271	46	792	-	11,741
	学外からの受付(国外) Requests(International)		24	0	0	0	0	-	24
	小計 Subtotal		1,210	9,446	271	46	792	-	11,765
	学内からの受付 Request within KU (内、E-DDS件数) (E-DDS of above)		1,147	783	108	25	269	-	2,332
	合 計 Total		2,357	10,229	379	71	1,061	-	14,097
	(うち謝絶) (cancel)		289	1,350	43	16	111	-	1,809
	学外への依頼(国内) Received(Domestic)		2,820	2,144	537	100	454	-	6,055
	学外への依頼(国外) Received(International)		2	2	0	0	1	-	5
	合 計 Total		2,822	2,146	537	100	455	-	6,060
	(うち謝絶) (cancel)		299	87	68	19	46	-	519
	NDL閲覧 Browse(NDL)		125	-	-	-	35	-	160
	NDL複写 Copies(NDL)		322	-	-	-	36	-	358
合 計 Total		447	-	-	0	71	-	518	
相互貸借件数 Resource Sharing(Loans) (件)	学外からの受付(国内) Borrows(Domestic)		762	33	80	20	227	-	1,122
	学外からの受付(国外) Borrows(International)		0	0	0	0	0	-	0
	合 計 Total		762	33	80	20	227	-	1,122
	(うち謝絶) (cancel)		159	18	7	1	70	-	255
	学外への依頼(国内) Loans(Domestic)		1,191	181	86	10	192	-	1,660
	学外への依頼(国外) Loans(International)		8	0	0	0	1	-	9
合 計 Total		1,199	181	86	10	193	-	1,669	
(うち謝絶) (cancel)		227	37	19	7	7	-	297	
レファレンス件数 Reference inquiries (件)	教職員 Faculties		110	102	27	153	388	0	780
	学 生 Students		674	186	263	135	3,491	299	5,048
	学外者 Others		344	82	106	77	407	0	1,016
	合 計 Total		1,128	370	396	365	4,286	299	6,844
	所在調査 Holdings		250	57	19	77	523	20	946
	事項調査 Topics		111	49	14	181	654	1	1,010
	利用指導・その他 Instructions /Others		767	264	363	107	3,109	278	4,888
	合 計 Total		1,128	370	396	365	4,286	299	6,844

中央図書館の件数には、旧中央図書館および中央図書館の2館分が含まれる
嚶鳴天空広場は平成30年8月9日をもって閉室した
文献複写・相互貸借件数には謝絶も含む
NDLは、国立国会図書館の「デジタル化資料送信サービス」を示す

電子ジャーナルの利用(主要パッケージのフルテキストダウンロード数)

E-Journals

Full-text downloads in major e-Journal packages

2018.1.1-12.31

パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads	パッケージ名称 Service	利用件数 Downloads
American Chemical Society (ACS)	300,441	Nature Site License	205,091
American Institute of Physics (AIP)	42,709	ProQuest Central	35,610
American Physical Society (APS)	32,557	Science online	57,503
Elsevier ScienceDirect Freedom Collection	1,205,113	SpringerLink	176,403
IEEE POP	13,490	Wiley Online Library	315,412
JSTOR Arts & Sciences I, II	12,853	合計 Total	2,397,182

情報検索サービスの利用

Databases

2018.1.1-12.31

種別 Type	サービス名 Database name	説明 Description	検索回数 Searches	セッション数 Sessions
ディスカバリサービス Discovery services	九大コレクション	ディスカバリ(ローカル)	3,355,858	-
文献情報 Abstracts & index databases	SciFinder	化学	221,906	45,698
	Web of Science	全分野	209,800	108,018
	Scopus	全分野	187,890	97,134
	医中誌Web	医学(国内)	154,202	57,296
	Business Source Complete (EBSCOhost)	経済・経営学	74,172	31,407
	Econlit (EBSCOhost)	経済学	73,586	288,906
	CINAHL (EBSCOhost)	看護学	73,374	29,024
	PsycINFO (Ovid)	心理学	3,066	905
	MEDLINE (Ovid)	医学	2,005	391
	EBM Reviews (Ovid)	医学	2,359	1,029
ERIC (Ovid)	教育学	196	82	
事典類 References	JapanKnowledge	(国内)	161,392	15,971
	Gale Virtual Reference Library		410	153
	理科年表プレミアム	(国内)	-	238
	化学書資料館	(国内)	-	21,746
新聞 Newspaper articles	研究社オンライン・ディクショナリー		-	564
	聞蔵II ビジジュアル for Libraries	朝日新聞など	42,774	8,379
	西日本新聞記事データベース「パピルス」	西日本新聞記事	9,037	-
	毎日新聞社データベース「毎索」	毎日新聞記事	8,088	1,870
その他 Others	ヨミダス歴史館	読売新聞など	8,627	-
	Journal Citation Reports [JCR]	インパクトファクター	28,148	8,716
	きゅうとLinQ	リンクリゾルバ	410,959	-
	きゅうとE-Journals	電子ジャーナル集	41,865	-
	マイページ	図書館ポータル	-	255,860

学内配送サービスの利用(図書の出貸・返却に学内配送システムを利用した回数)

Intra-campus book delivery

平成30(2018)年度

から from	旧中央図書館【箱崎】 Central Lib. (Hakozaki)	中央図書館【伊都】 Central Lib.	理系図書館 Science and Technology Lib.	医学図書館 Medical Lib.	芸術工学図書館 Design Lib.	筑紫図書館 Chikushi Lib.	嚶鳴天空広場 Q-Commons	計 Total
旧中央図書館【箱崎】 Central Lib. (Hakozaki)		3,001	2,654	342	908	195	42	7,142
中央図書館【伊都】 Central Lib.	2,730		7,299	1,666	2,295	528	32	14,550
理系図書館 Science and Technology Lib.	2,385	6,327		1,266	1,293	1,088	81	12,440
医学図書館 Medical Lib.	352	2,733	1,396		449	297	3	5,230
芸術工学図書館 Design Lib.	971	2,441	1,309	426		279	38	5,464
筑紫図書館 Chikushi Lib.	201	693	1,100	306	299		8	2,607
嚶鳴天空広場 Q-Commons	40	41	476	3	24	9		593
計 Total	6,679	15,236	14,234	4,009	5,268	2,396	204	48,026

統計 = 基盤サービス = Statistics

■ 図書・雑誌(冊子体)の受入 Current acquisitions of materials

平成30(2018)年度

		図書受入冊数 Current acquisitions of books (冊)			雑誌受入種類数(冊子体) Current serials title (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館 Central Library	中央図書館 Central Library	8,478	1,834	10,312	670	231	901
	人文科学研究院 Faculty of Humanities	1,883	971	2,854	1,823	198	2,021
	人間環境学研究院 Faculty of Human-Environment Studies	588	201	789	539	94	633
	法学研究院※法務学府含む Faculty of Law	2,388	889	3,277	620	267	887
	経済学研究院 Faculty of Economics	712	360	1,072	517	194	711
	比較社会文化研究院 Faculty of Social and Cultural Studies	1,906	326	2,232	94	32	126
	言語文化研究院 Faculty of Languages and Cultures	717	314	1,031	12	33	45
	基幹教育院 Faculty of Arts and Science	187	77	264	7	3	10
	共創学部 School of Interdisciplinary Science and Innovation	1	0	1	0	0	0
	小計 Central Library Total	16,860	4,972	21,832	4,282	1,052	5,334
医学図書館 Medical Library	医学図書館 Medical Library	987	713	1,700	737	171	908
	医学研究院 Faculty of Medical Sciences	69	32	101	50	23	73
	歯学研究院 Faculty of Dental Science	0	22	22	10	13	23
	薬学研究院 Faculty of Pharmaceutical Sciences	0	1	1	9	1	10
	生体防御医学研究所 Medical Institute of Bioregulation	0	0	0	0	0	0
	病院(医・歯) University Hospital	89	74	163	169	103	272
	小計 Medical Library Total	1,145	842	1,987	975	311	1,286
芸術工学図書館 Design Library	1,507	118	1,625	426	50	476	
建築図書館 Chikushi Library	建築図書館 Chikushi Library	222	52	274	204	18	222
	総合理工学研究院 Faculty of Engineering Sciences	0	2	2	13	0	13
	応用力学研究所 Research Institute for Applied Mechanics	0	0	0	16	3	19
	先端物質化学研究所 Institute for Materials Chemistry and Engineering	0	0	0	1	0	1
	小計 Chikushi Library Total	222	54	276	234	21	255
理系図書館 Science and Technology Library	理系図書館 Science and Technology Library	2,512	506	3,018	138	21	159
	理学研究院 Faculty of Science	20	74	94	63	47	110
	数理学研究院 Faculty of Mathematics	189	1,780	1,969	30	314	344
	工学研究院 Faculty of Engineering	137	215	352	136	118	254
	システム情報学研究院 Faculty of Information Science and Electrical Engineering	59	60	119	39	29	68
	農学研究院 Faculty of Agriculture	305	295	600	413	355	768
	小計 Science and Technology Library Total	3,222	2,930	6,152	819	884	1,703
別府病院 Beppu Hospital	0	0	0	2	0	2	
記録資料館 Manuscript Library	27	0	27	58	0	58	
合計 Total	22,983	8,916	31,899	6,796	2,318	9,114	

(注1) 図書受入数及び雑誌受入種類数は、図書館の単位で大区分を行い、その中を部局・附属研究所・全国共同利用施設の単位で展開している。学内共同教育研究施設及び学内共同利用施設等の受入数については、それらの施設の事務処理を行う館の項目に計上している。

(注2) 統合新領域学府ユーザーサイエンス専攻、ライブラリーサイエンス専攻、韓国センター、留学生センター、EUセンターは、中央図書館の項目に計上している。

(注3) 統合新領域学府オートモーティブサイエンス専攻、カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所、マス・フォア・インダストリ研究所、情報基盤研究開発センターは、理系図書館の項目に計上している。

資料費 Expenditures for library materials

平成30(2018)年度
(単位:千円/thousand yen)

		図書費	雑誌・新聞費	eリソース	その他	資料費総額
		Books	Serials	Electronic resources	Others	Total
中央図書館	Central Library	127,244	72,240	652,520	9,511	861,515
医学図書館	Medical Library	15,655	16,613	18,294	397	50,959
芸術工学図書館	Design Library	9,721	5,002	172	1,606	16,502
筑紫図書館	Chikushi Library	7,044	4,949	69	29	12,089
理系図書館	Science and Technology Library	58,896	72,178	9,181	3,479	143,734
別府病院	Beppu Hospital	0	52	172	0	225
記録資料館	Manuscript Library	1,303	69	0	0	1,371
合計	Total	219,862	171,103	680,408	15,022	1,086,395

(注1) 全学共通の電子ジャーナルは、一括して中央図書館に計上

(注2) eリソースにはEJ、DB、その他電子ツールを含む。

(注3) 資料費総額には、視聴覚資料・製本費等、その他の資料に関する費用も含む

(注4) 情報基盤研究開発センターは理系図書館に計上

電子ブック・電子ジャーナル E-Books and E-Journals

令和元(2019)年5月1日現在

アクセス可能な電子ブック(無料タイトル含む)

Accessible e-books (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 253,719

アクセス可能な電子ジャーナル(無料誌含む)

Accessible e-Journals (including free titles)

純タイトル数 Unique titles 134,083

契約タイトル数 Licensed e-Journals

令和元(2019)年度

出版社等 Publisher	タイトル数 Titles	出版社等 Publisher	タイトル数 Titles
American Chemical Society (ACS)	58	KISS: 人文・社会・語文・芸術・体育雑誌	1,330
American Institute of Physics (AIP)	11	LexisNexis: Academic & lexis.com	10,625
American Physical Society (APS)	14	Lippincott Williams and Wilkins (LWW)	24
American Society of Mechanical Engineers (ASME)	31	Medical Online Library (MOL) *	1,412
Association for Computing Machinery: ACM Portal	1,143	OECD iLibrary	190
Cambridge University Press	45	Oxford University Press	43
Cell Press	11	ProQuest Central	21,599
Chemical Society of Japan (CSJ) *	2	Science (AAAS)	3
CNKI: 中国学術雑誌(CAJ)	4,036	Springer Nature: Nature	32
DBpia: 人文社会系パッケージ	1,294	Springer Nature: SpringerLink	1,601
EBSCOhost: Business Source Complete	16,206	Taylor & Francis	96
EBSCOhost: EconLit with Full Text	666	UniBio Press *	5
Elsevier ScienceDirect	2,290	University of Chicago Press	5
IEEE: ASPP Online, POP Online	315	Wiley Online Library	1,490
IEICE *	8	World Scientific Publishing	8
Institute of Physics (IOP)	11	日本物理学会(JPS) *	1
Journals@Ovid	6	その他	426
JSTOR: Arts & Sciences Collection I-II	384	合計 Total	65,421

* 国内誌

蔵書数 Holdings

平成31(2019)年3月31日現在

		図書所蔵冊数 Books (冊)			雑誌所蔵種類数 Serials (種)		
		和漢書 CJK	洋書 Western	計 Total	和雑誌 CJK	洋雑誌 Western	計 Total
中央図書館	Central Library	1,578,522	868,470	2,446,992	27,256	10,972	38,228
医学図書館	Medical Library	140,484	188,236	328,720	2,945	7,195	10,140
芸術工学図書館	Design Library	137,233	52,586	189,819	2,086	990	3,076
筑紫図書館	Chikushi Library	68,452	72,811	141,263	543	1,106	1,649
理系図書館	Science and Technology Library	406,533	611,114	1,017,647	9,860	13,693	23,553
別府病院	Beppu Hospital	6,693	13,491	20,184	292	347	639
記録資料館	Manuscript Library	46,615	3,767	50,382	66	2	68
合計	Total	2,384,532	1,810,475	4,195,007	43,048	34,305	77,353

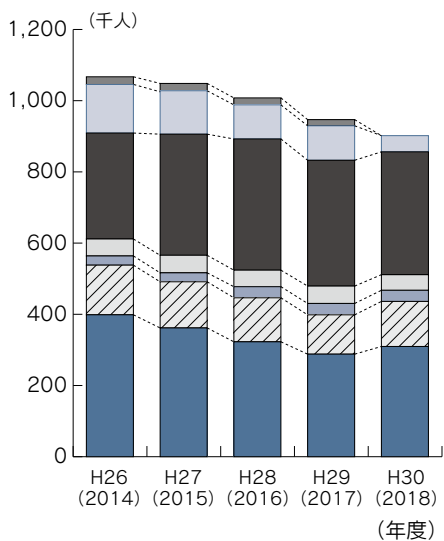
(注) 図書蔵書冊数は、資産として登録された図書の冊数である。

統計 = 推移と分析 = Statistics

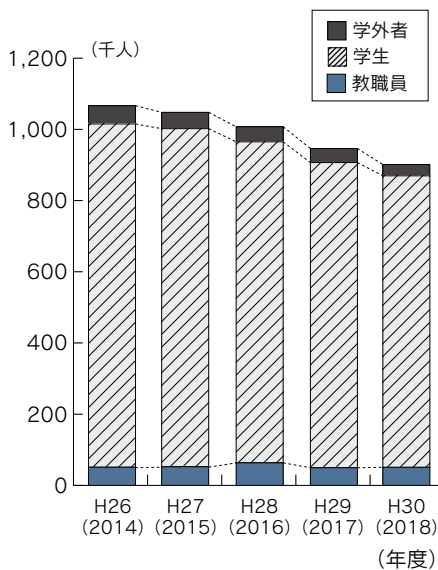
■ 利用サービスの推移



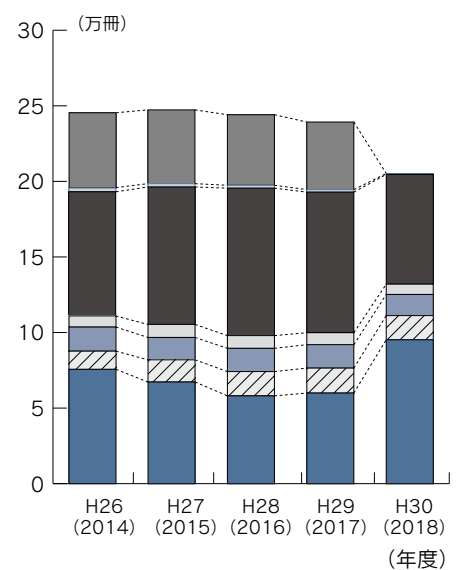
入館者数



身分別入館者数



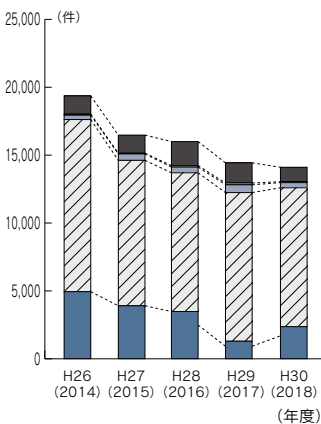
貸出冊数



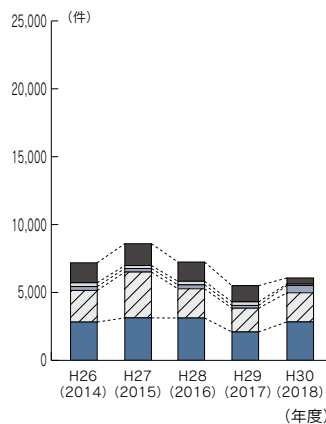
入館者数については、全体で約5%の減少となりました。文系合同図書室、嚶鳴天空広場Q-Commons、旧中央図書館が閉館・室しましたが、利用できなくなる期間を最小限にとどめたことにより、大幅な落ち込みとはなりません。一方で閉館・室の影響で立地の良い医学図書館の入館者は14%増加しています。

貸出冊数は、全体では前年比約14%減となっております。移転前に貸出条件の拡大を行い、資料を長期間借りられるようにしたことが大きな要因であると考えられます。

文献複写件数【受付】

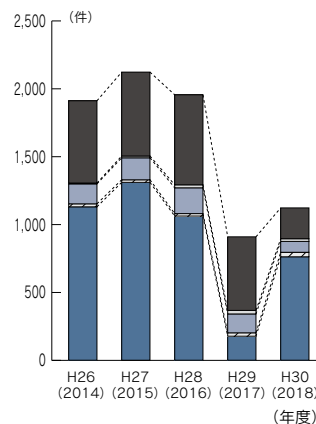


文献複写件数【依頼】

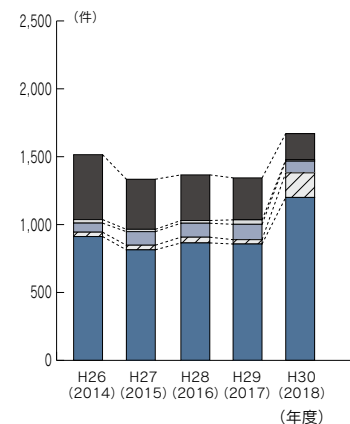


受付（学内外への文献コピーの提供）は、全体として直近5年で減少傾向にあるものの、中央図書館では30年度に増加に転じました。これは29年度に休止していた中央図書館所蔵資料の学外機関への提供を30年10月より再開したことが要因です。また、医学図書館に注目すると、最近5年のいずれの年度も、受付が依頼（学外機関からの文献コピーの取寄せ）を大幅に上回っており、医学系の学術情報拠点として全国的に貢献し続けています。

相互貸借件数【受付】



相互貸借件数【依頼】

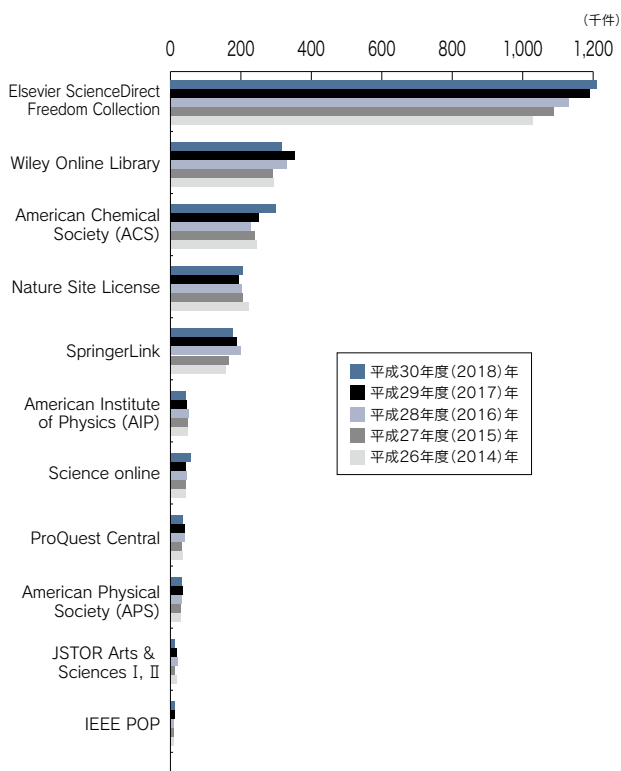


受付（学外機関への図書の貸出）は、直近5年内でピーク時だった27年度と比べて、30年度は半数近くに減少しています。一方で、依頼（学外機関からの図書の借受）は、中央図書館および医学図書館の増加が、全体を押し上げる形となっています。これはキャンパス移転の影響が要因の一つに挙げられます。30年4月から最長半年間、一部の資料を利用できない期間が生じ、その際には学内者への代替サービスとして、附属図書館の費用負担で、学外機関からの文献コピー取寄せや図書借受を実施しました。

電子ジャーナルと情報検索サービスの利用の推移

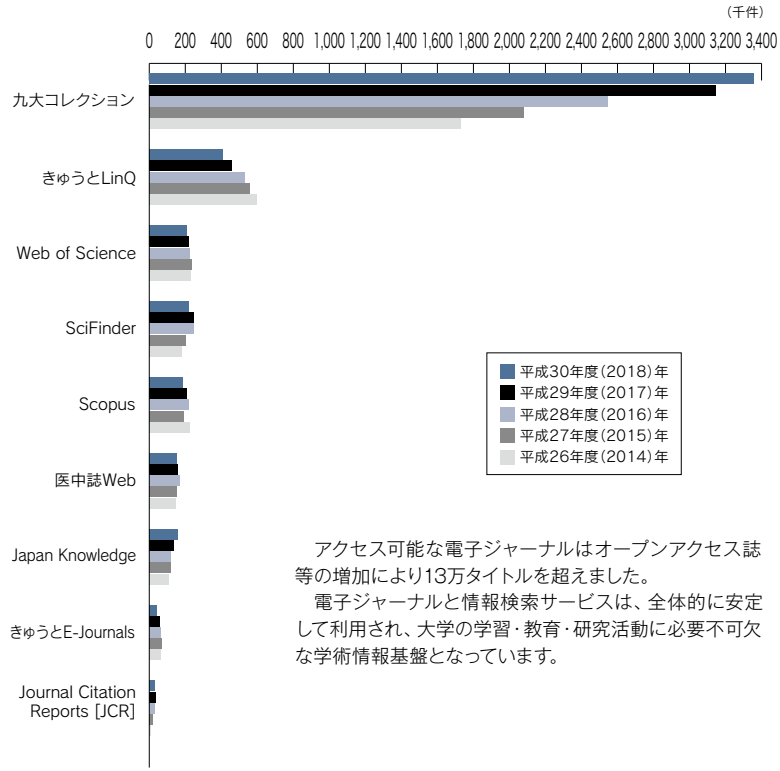
電子ジャーナルの利用

主要パッケージの利用件数



情報検索サービスの利用

主要データベースの検索回数

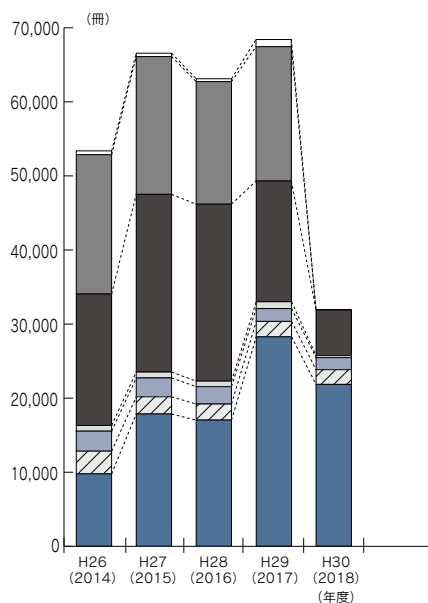


アクセス可能な電子ジャーナルはオープンアクセス誌等の増加により13万タイトルを超えました。

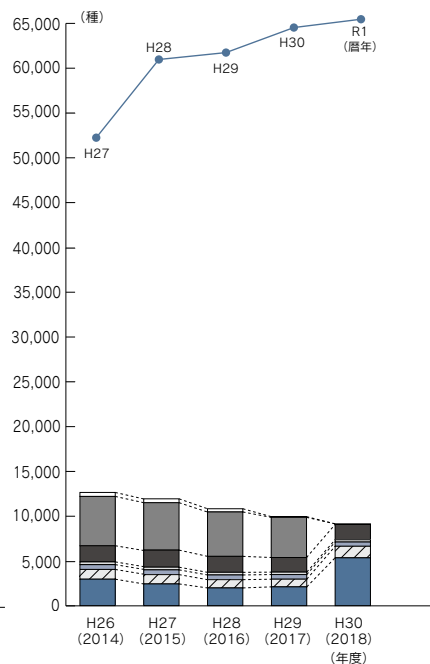
電子ジャーナルと情報検索サービスは、全体的に安定して利用され、大学の学習・教育・研究活動に必要な学術情報基盤となっています。

資料受入の推移

図書受入冊数



雑誌受入種類数



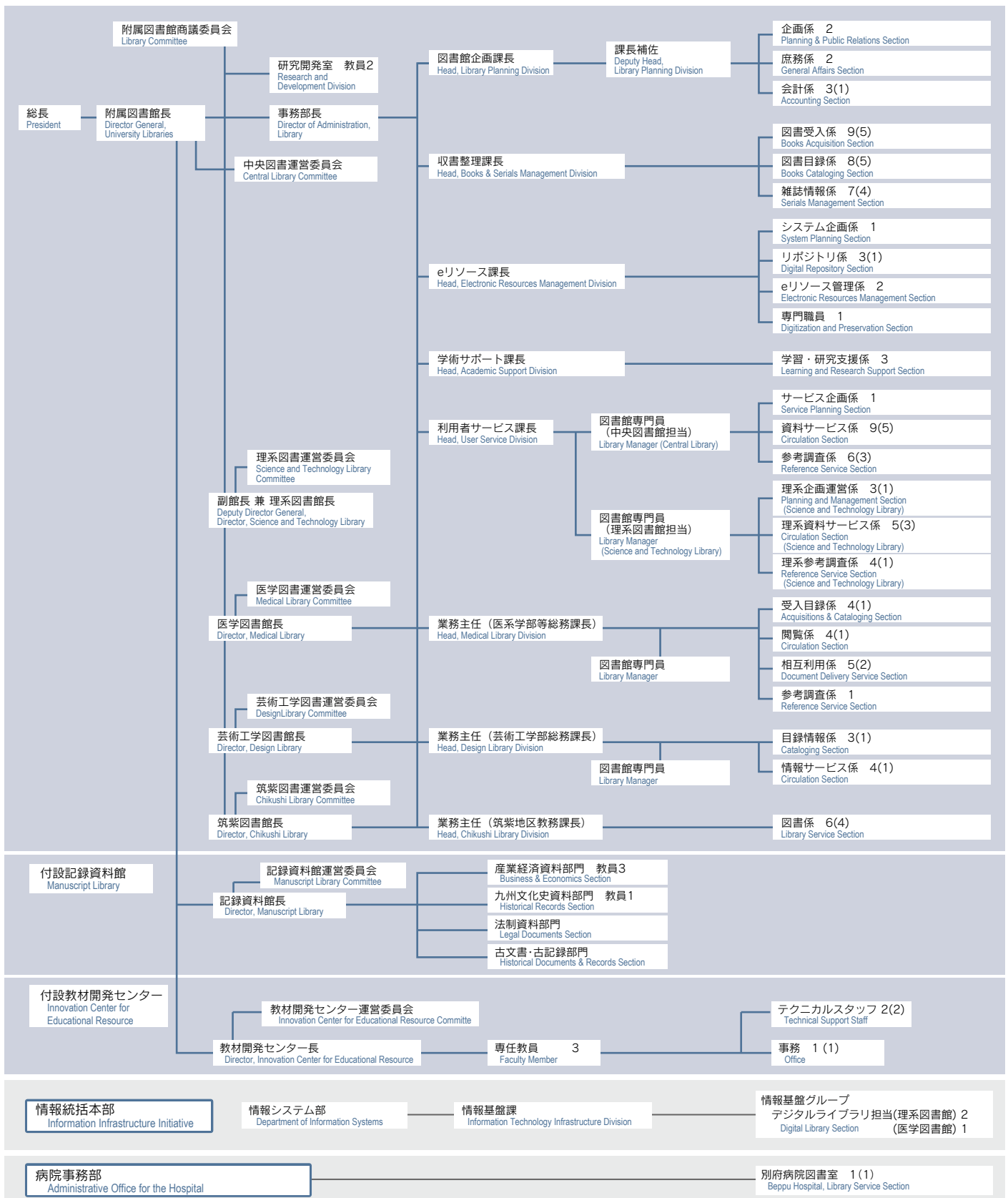
図書については、伊都キャンパスへの移転に伴い中央図書館で寄贈図書の受入を停止したため、受入総数が減少しています。購入している図書の冊数には大きな変化はありません。

雑誌については、EJの契約タイトル数が増加するに伴い、冊子体の受入数が減少傾向にあります。なお、中央図書館については文系合同図書室の統合により受入種類数が増加しています。

※伊都キャンパス移転に伴う計上先の変更については、p17をご参照ください。

附属図書館の組織 Organization

(平成31年4月1日現在)



区分	教授	准教授	講師	助教	合計
教員数	2	4	0	4	10

※ 専任教員のみ。

区分	事務部長	課長	課長補佐	図書館専門員	係長/専門職員	係員等	合計
職員数	1	5	1	4	24	79(43)	114

※ 情報統括本部情報システム部のデジタルライブラリ担当を含む。()内は非常勤職員で内数。

附属図書館長・副館長・分館長等

平成31年4月1日現在

附属図書館長	宮本 一夫(副学長)	記録資料館長	坂上 康俊(人文学研究院 教授)
副館長・理系図書館長	富浦 洋一(システム情報科学研究院 教授)	教材開発センター長	岡田 義広(教材開発センター 教授)
医学図書館長	笹栗 俊之(医学研究院 教授)	事務部長	瓜生 照久
芸術工学図書館長	古賀 徹(芸術工学研究院 教授)		
筑紫図書館長	青木 俊之(総合理工学研究院 教授)		

附属図書館商議委員会

平成31年4月1日現在

■委員長

宮本 一夫(副学長、附属図書館長)

■委員

富浦 洋一(副館長・理系図書館長)

笹栗 俊之(医学図書館長)

古賀 徹(芸術工学図書館長)

青木 俊之(筑紫図書館長)

坂上 康俊(記録資料館長)

岡田 義広(教材開発センター長)

小野 謙二(情報基盤研究開発センター長)

渡邊公一郎(留学生センター長)

高山 倫明(人文科学研究院 教授)

山下 潤(比較社会文化研究院 教授)

堀 賀貴(人間環境学研究院 教授)

木村 俊道(法学研究院 教授)

深川 博史(経済学研究院 教授)

江口 巧(言語文化研究院 教授)

中西 秀(理学研究院 教授)

廣島 文生(数理学研究院 教授)

岩城 徹(医学研究院 教授)

柏崎 晴彦(歯学研究院 教授)

片山 勉(薬学研究院 教授)

守田 幸路(工学研究院 教授)

井上 滋樹(芸術工学研究院 教授)

伊良皆啓治(システム情報科学研究院 教授)

羽田 亨(総合理工学研究院 教授)

磯田 宏(農学研究院 教授)

野口 高明(基幹教育院 教授)

馬場 健史(生体防御医学研究所 教授)

吉田 茂雄(応用力学研究所 教授)

佐藤 治(先導物質化学研究所 教授)

河原 吉伸(マス・フォア・インダストリ研究所 教授)

瓜生 照久(附属図書館事務部長)

所属する図書館関係団体と九州大学の役割

附属図書館

国立大学図書館協会 理事館(全国の国立大学図書館)
九州地区国立大学図書館協会 代表館(九州地区の国立大学図書館)
九州地区大学図書館協議会 幹事館(九州地区の国公立大学図書館)
福岡県図書館協会 理事・館長(福岡県内の大学・公共・学校・専門図書館)
福岡県・佐賀県大学図書館協議会 理事館(福岡県・佐賀県内の国公立大学図書館)

医学図書館

日本医学図書館協会 (全国の医学系大学図書館および病院図書館・図書室)
九州地区医学図書館協議会(九州地区の医学系大学図書館)

外部委員会での職員の役割

●堀 優子(eリソース課長)

国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員

●渡邊 由紀子(学術サポート課長・准教授)

日本図書館協会・図書館情報学教育部会幹事

福岡県/福岡県自治振興組合・福岡共同公文書館運営専門協議会委員

福岡市・福岡市総合図書館運営審議会委員

●羽賀 真記子(収書整理課図書受入係長)

国立情報学研究所・「目録システム書誌作成研修」企画ワーキンググループメンバー

●林 豊(eリソース課システム企画係長)

国立国会図書館・図書館情報学関係情報誌編集企画員

オープンアクセスリポジトリ推進協会・作業部会員(メタデータ普及タスクフォース)

国立情報学研究所・学術認証運営委員会委員、

同委員会図書館系サービス作業部会主査作業部会員

●沖 政広(eリソース課eリソース管理係長)

大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(交渉)

●原賀 可奈子(eリソース課eリソース管理係)

西洋古典資料保存のためのネットワーク「ほぞんネット」協力員

●小柳 真弓(eリソース課eリソース管理係)

大学図書館コンソーシアム連合・作業部会委員(調査)

●吉松 直美(医学図書館専門員)

国文学研究資料館古典籍共同研究事業センター拠点連携委員会委員

●首東 誠(医学図書館 受入目録係長)

日本医学図書館協会機関誌「医学図書館」編集委員会協力委員

平成30年度

人事異動 Personnel Reshuffle

(平成30年4月1日~31年3月31日)

■学外へ転出

4/1	黒木 卓也	琉球大学	文)資料サービス係
-----	-------	------	-----------

■中央図書館・理系図書館

4/1	内山 英昭	研究開発室准教授	(採用)
〃	渡邊 俊彦	事務部長	鹿児島大学
〃	新山 明子	図書館企画課課長補佐	カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 支援部門専門職員
〃	羽賀真記子	資)図書受入係長	九州工業大学情報推進課図書館 サービス係
〃	江藤 弘史	資)図書目録係長	資)図書受入係長
〃	梶原 瑠衣	企)庶務係	企)企画係
〃	中村 智晴	利)資料サービス係	(採用)
〃	藤 博明	利)資料サービス係(有期事務職員)	(採用)
〃	高村 南美	企)企画係事務補佐員	(採用)
〃	古川 英美	利)サービス企画係事務補佐員	(採用)
〃	腰 美津子	資)図書受入係事務補佐員	(採用)
〃	宇野真由美	資)図書受入係事務補佐員	(採用)
7/1	稲永 晶子	企)企画係	医)相互利用係
7/30	田中 圭子	(退職)	利)資料サービス係(有期事務職員)
〃	川良 沙季	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
〃	和田真理子	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
8/31	中村シヅ江	(退職)	企)会計係事務補佐員
9/1	櫻井めぐみ	利)資料サービス係事務補佐員	(採用)
〃	川口 綾	利)文献流通サービス係事務補佐員	(採用)
9/14	桑原真由子	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
10/1	山口 良子	収書整理課長	図書館専門員 兼)文系合同図書室長
〃	堀 優子	e)リソース課長	図書館専門員
〃	渡邊由紀子	学術サポート課長	教育主幹
〃	斎藤 未夏	利用者サービス課長	利用支援課長
〃	河上 章彦	図書館専門員(中央図書館担当)	医)図書館専門員
〃	井ノ上俊哉	図書館専門員(理系図書館担当)	図書館専門員 兼)e)リソースサービス室長
〃	山根 泰志	企)企画係長	利)サービス企画係長
〃	鳥居 愛	収)図書目録係長	文)資料サービス係長
〃	林 豊	e)システム企画係長	e)リポジトリ係長
〃	芦北 卓也	e)リポジトリ係長	情報基盤課デジタルライブラリ担当専門職員
〃	児玉 浩憲	e)専門職員	医)相互利用係長 兼)参考調査係長
〃	星子 奈美	学)学習・研究支援係長	企)企画係長
〃	宮尾由美子	利)サービス企画係長	利)資料サービス係長
〃	詫間沙由香	利)資料サービス係長	伊)利用サービス係長
〃	兵藤 健志	利)参考調査係長	e)リソースサポート係長
〃	小柳 貴俊	利)理系資料サービス係長	文)文献流通サービス係長
〃	末續 直子	企)庶務係主任	記録資料館主任
〃	小山田直起	収)図書受入係	医)参考調査係
〃	立園恵巳子	収)図書目録係	文)資料管理係
〃	大田 海	収)雑誌情報係	e)リソースサポート係
〃	福嶋 香奈	収)雑誌情報係	文)資料サービス係
〃	小柳 真弓	e)リソース管理係	伊)参考調査係
〃	上土井宏太	学)学習・研究支援係	医)相互利用係
〃	中村 智晴	学)学習・研究支援係	利)資料サービス係
〃	工藤絵理子	利)資料サービス係	情報基盤課デジタルライブラリ担当
〃	西 真里恵	利)参考調査係	資)雑誌情報係
〃	吉丸 梓	利)理系参考調査係	文)資料管理係
〃	高原 秀典	収)図書受入係(特定有期事務職員)	貝塚地区事務部総務課
〃	上田はるみ	利)参考調査係(特定有期事務職員)	筑)図書係
〃	井上 修孝	利)サービス企画係(有期事務職員)	(採用)
〃	古川 英美	利)資料サービス係事務補佐員	利)サービス企画係事務補佐員
〃	松石麻紀子	利)資料サービス係事務補佐員	利)文献流通サービス係事務補佐員
〃	箱田 愛	利)資料サービス係事務補佐員	文)資料管理係事務補佐員
〃	川原 由佳	利)資料サービス係事務補佐員	文)資料サービス係事務補佐員
〃	森谷優理子	利)資料サービス係事務補佐員	文)資料サービス係事務補佐員
〃	高村 南美	利)参考調査係事務補佐員	企)企画係事務補佐員
11/30	立園恵巳子	(退職)	収)図書目録係
12/31	野口 秀子	(退職)	利)理系企画運営係事務補佐員
3/31	渡邊 俊彦	(定年退職)	事務部長
〃	廣 沙織	(退職)	収)図書受入係事務補佐員
〃	山田 仁美	(退職)	収)雑誌情報係事務補佐員
〃	川原 由佳	(退職)	利)資料サービス係事務補佐員
〃	大村 早紀	(退職)	利)理系資料サービス係事務補佐員

■医学図書館

4/1	永野間昌代	業務主任	監査室長
〃	渡邊真由美	閲覧係長	資)図書目録係長
〃	宮嶋 舞美	相互利用係	文)資料サービス係
〃	上土井宏太	相互利用係	(採用)
〃	山崎 法子	閲覧係(特定有期事務職員)	(採用)
〃	下川真悠子	受入目録係(有期事務職員)	(採用)
〃	齋藤 彰子	受入目録係事務補佐員	(採用)
〃	濱地つき乃	受入目録係事務補佐員	(採用)
〃	安武由美子	相互利用係事務補佐員	(採用)
10/1	吉松 直美	図書館専門員	図書館専門員 兼)資料整備室長
〃	江藤 弘史	相互利用係長 兼)参考調査係長	資)図書受入係長
〃	城戸 弦太	相互利用係	文)資料管理係
〃	嶋田 香	参考調査係	文)資料サービス係
12/31	落石 千壽	(退職)	相互利用係事務補佐員
1/1	井上 雅子	相互利用係事務補佐員	(採用)
3/31	柳 雄介	(退任)	医学図書館長
〃	相部久美子	(退職)	閲覧係(特定有期事務職員)
〃	濱地つき乃	(退職)	受入目録係事務補佐員

■芸術工学図書館

4/15	津森 洋子	(退職)	情報サービス係事務補佐員
5/1	小林 美詠	情報サービス係事務補佐員	(採用)
3/31	脇山 真治	(定年退職)	芸術工学図書館長
〃	古川 康祐	(定年退職)	業務主任

■筑紫図書館

4/1	青木 俊之	筑紫図書館長	
10/1	塚本 佳奈	図書係	資)図書受入係

■伊都図書館

4/1	冨浦 洋一	伊都図書館長	
7/1	石田 知子	利用サービス係事務補佐員	(採用)
7/19	宇治野寿子	(退職)	伊)利用サービス係事務補佐員
9/30	田中由紀子	(退職)	伊)伊都地区図書課長

■教材開発センター

4/1	大井 京	付設教材開発センター准教授	(採用)
〃	芳賀 瑛	付設教材開発センター助教	(採用)
11/1	山内 聡子	付設教材開発センター事務補佐員	(採用)
11/16	田中 啓太	付設教材開発センターテクニカルスタッフ	(採用)
11/30	西 在華	(退職)	付設教材開発センター事務補佐員
3/31	上野 敦子	(退職)	付設教材開発センターテクニカルスタッフ

■情報システム部情報基盤課

10/1	宮岡 大輔	情報基盤課デジタルライブラリ担当専門職員	文)資料管理係長
〃	古賀 京子	情報基盤課デジタルライブラリ担当	医)参考調査係

■文系合同図書室

4/1	羽賀 究	資料サービス係事務補佐員	(採用)
8/31	金丸委津子	(退職)	資料管理係(特定有期事務職員)
9/30	大谷 莊平	(退職)	資料サービス係事務補佐員
〃	服部麻衣子	(退職)	資料管理係事務補佐員
〃	大山 智美	(退職)	資料管理係事務補佐員
10/1	木下 博貴	総務部総務課	資料サービス係
〃	田畑 澄香	人間環境学府事務補佐員	資料サービス係事務補佐員
〃	羽賀 究	人文社会科学系事務部総務課 人事係事務補佐員	資料サービス係事務補佐員
〃	岡留 綾子	人文社会科学系事務部総務課 人事係事務補佐員	資料管理係事務補佐員

■平成30年9月30日まで 中央図書館 医)医学図書館 企)図書館企画課 芸)芸術工学図書館 利)利用支援課 筑)筑紫図書館 資)資料整備室 文)文系合同図書室 e)e)リソース 伊)伊都図書館 学)学術サポート課 サービス室	■平成30年10月1日から 中央図書館・理系図書館 医)医学図書館 企)図書館企画課 芸)芸術工学図書館 収)収書整理課 筑)筑紫図書館 e)e)リソース課 学)学術サポート課 利)利用者サービス課
---	--

出版物

●附属図書館発行

『九州大学附属図書館要覧』(2018.9)
『九州大学附属図書館年報2017/2018』(2018.6)
『九州大学附属図書館研究開発室年報2017/2018』(2018.7)
『きゅうとNEWSLETTER』Vol.14(2018.4)
『ありがとう箱崎の図書館たち：箱崎地区図書館記念冊子』(2018.7)

●付設記録資料館発行

『九州大学附属図書館付設記録資料館ニューズレター Vol. 13』(2019.3)

●付設記録資料館産業経済資料部門発行

『石炭研究資料叢書 No.40』(2019.3) 『エネルギー史研究 No.34』(2019.3)

●付設記録資料館九州文化史資料部門発行

『九州文化史研究所紀要』62号(2019.3)

●付設教材開発センター発行

『九州大学附属図書館付設教材開発センターだより』
No.32(2018.4), No.33(2018.6), No.34(2018.8), No.35(2018.10), No.36(2018.12), No.37(2019.2)

貴重書等の学外での展示

資料名	所蔵館	展示会名	展示会場
広開土王碑拓本	中央図書館	文化交流展示「海の道、アジアの路」(H30.4.1~H31.3.31)	九州国立博物館
「相見香雨自筆調査録」(相見文庫)	文系合同図書室	企画展「記録された日本美術史-相見香雪・田中一松・土居次義の調査ノート」(H30.5.12~6.16、6.25~8.11)	実践女子大学香雪記念資料館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館
「松平忠和書状」(元山文庫)	記録資料館(九州文化史)	「海峡の幕末維新」(H30.7.7~9.2)	下関市立歴史博物館
名護屋松尾文書	記録資料館(九州文化史)	「肥前名護屋-幻の巨大都市」(H30.9.28~11.11)	佐賀県立名護屋城博物館
ドグマ・マグラ初期草稿(杉山家資料)	記録資料館(経済産業)	企画展示「夢のごとく夢野久作」(H30.11.10~11.11)	第22回精神医学史学会(於西南学院大学)
有松文書 麻生家文書	記録資料館(経済産業・九州文化史)	「嘉麻・穂波の幕末維新展」(H30.10.27~12.4)	飯塚市歴史資料館
南方熊楠署名本「マニ教要義(英)」 島崎正樹、藤村旧蔵「山陽文稿」(西田文庫) 稲垣千穎自筆本「詞道返」(音無文庫) 「日本に於ける英語英文学関係史上の人々の書翰及葉書」(筑紫文庫) ロマン・ロラン署名本「愛と死との戯れ」(成瀬文庫)	中央図書館	「欧米古書稀覯書展」(H30.12.7~12.9)	福岡ビルの階特設展示場

貴重書等の出版物への掲載・TV等での放映(一部)

●出版物への掲載

資料名	所蔵館	掲載資料名
濱文庫詩文・書簡・春水手稿ほか	中央図書館	『《春水》手稿后話及周作人、钱玄同、俞平伯诗作信札』(『中国現代文学研究叢刊』2018年4期) ほか
「蒙古襲来絵詞」	中央図書館	『人物・テーマごとに深掘り! 河合敦先生の歴史でござる』(朝日学生新聞社 2018.5) ほか
「舟州尺牘解」(雅俗文庫) 「盛明七子尺牘註解」(大井文庫)	中央図書館	『日本所編中国詩文選集・明代巻』(廣西師範大学出版社集團 2018.8)
「丘瓊山忠孝箴勉学詩」「明賢詠落花詩」「明李王七言律解」(雅俗文庫)	中央図書館	『日本所編明人詩文選集総録』(廣西師範大学出版社集團 2018.8)
「読世説」(雅俗文庫)	中央図書館	『日本世説新語注釈叢刊』(覆刻、鳳凰出版社 2019.12刊行予定)
「うつほ物語絵巻」(細川文庫)	中央図書館	『文遊回廊』(『京都新聞』2018.11.22)
「九州帝国大学新聞」(1939年5月20日)	中央図書館	『平成30年度福岡市文学館企画展 青春の光芒- 矢山西治と文芸雑誌「こをろ」』(2018.11)
「筑前早鑑」寺院記 「筑前早鑑」神社記	中央図書館	「永末舟舟と「筑前早鑑」-もう一つの「筑前国統風土記」-」(『市史研究ふくおか』14 2019.3)
「磨象新書」(桑木文庫)	中央図書館	「伝吉村迂斎序を付したのは誰か-志筑忠雄「磨象新書」受容史の一駒-」(『文彩』15 2019.3)
「とりかへばや物語」(音無文庫)	中央図書館	『文献探究』57口絵(2019.3)
「類経図翼」(廣瀬文庫)	中央図書館	『社会科資料集6年』(光文書院 2019)
「大五重」(松澤文庫)	中央図書館(文)	「薫堂在禅「大五重古今興廃次第」について」(『浄土宗学研究』44 2018.9)
「枕琴夢之通路」(旧松浦家蔵草双紙)	中央図書館(文)	「江戸時代の喫茶道具」(『人間文化研究』41 2018.11)
「忠義水滸全書」	中央図書館(文)	『水滸伝一百二十回本「忠義水滸全伝」「忠義水滸全書」について』(小林フェローシップ2017年度研究助成論文 2018.12)
「大職冠」	中央図書館(文)	「大職冠の絵物語」(『幸若舞曲と絵画』、海の見える杜美術館 2019.3) ほか
「安東省公署年報」(1936年)	理系図書館	『満洲国』地方誌集成第12巻(ゆまに書房 2018.12)
正徳本「養生訓」	医学図書館	「益軒先生の健康指南」(『はりきゅっていきましょう!』平成30年夏号 2018.8) ほか
「大外科学全集」ラテン語訳	医学図書館	『がんはなぜできるのか』(講談社ブルーバックス 2018.6)
シーボルト「NIPPON」	医学図書館	『未踏世界の探検 間宮林蔵』(新・人と歴史 清水書院 2018.7)
「The Far East : an illustrated fortnightly newspaper」(元山文庫)	記録資料館(九州文化史)	「維新・明治150年企画展 激動の幕末・維新期を庶民はどう生きたか?」パンフレット(大和市つるの里歴史資料館 2018.10) ほか
倭城址図	記録資料館(九州文化史)	『博物館研究論集』2018年版(釜山博物館 2018.12)
「福岡城下町・博多・近隣古図」(三奈木黒田家文書)	記録資料館(九州文化史)	「福岡路上遺産2」(海鳥社 2018.12) ほか
「長崎市地図」(松木文庫)	記録資料館(九州文化史)	『国指定史跡「出島と蘭商館跡」旧出島橋基礎的調査報告書』(長崎市 2019.3)
「唐方渡語色直段并異加銀取立候元極書付」(松木文庫)	記録資料館(九州文化史)	『Trade Relation between Qing China and Tokugawa Japan: 1685-1859』(シュプリンガー・ジャパン 2019)

●TV等での放映

資料名	所蔵館	放送番組
「吾妻鏡」(樋口文庫)	中央図書館	「NHKスペシャル世界遺産 平泉 金色堂の謎を追う」(NHK盛岡放送局 2018.11.3)
「福岡城下町・博多・近隣古図」(三奈木黒田家文書)	中央図書館	「Journeys in Japan」(NHK WORLD 2018.11.13)
「彦坂元正・石河安通連署書状写」(堀文書)	記録資料館(九州文化史)	「偉人たちの健康診断」(NHK 2019.4.18)

図書館日誌 Diary

	全学・中央図書館・文系合同図書室	医学図書館	芸術工学図書館	筑紫図書館	理系図書館
H30 (2018) 4					
5	2 第1回法学部図書委員会（書面回議） 第1回文学部図書委員会（書面回議） 8 第1回経済学部研究室委員会（書面回議） 9・10 図書系職員初任者研修 22 第2回文学部図書委員会（書面回議） 23 第1回農学研究院図書委員会 24 QIR登録説明会（言語文化研究院FD）	28 第89回日本医学図書館協会総会		19 オープンキャンパス「九州大学筑紫キャンパスの歴史散歩－昔も今も学術交流の拠点－」展示 30 第1回筑紫図書館運営委員会	
6	4 第2回法学部図書委員会（書面回議）		2 「第7回九州大学芸術工学部大公開！デザインのフシギ体験」図書館開放		21 第1回伊都図書館運営委員会
7	18 第3回文学部図書委員会（書面回議） 19 第3回法学部図書委員会 20 第2回経済学部研究室委員会 31 箱崎キャンパス中央図書館閉館式	5 外国雑誌センター館会議（メール会議） 23 第1回医学図書館運営委員会		19 第1回筑紫図書館図書資料選定委員会	27 第2回伊都図書館運営委員会
8	3 第2回農学研究院書面回議（書面回議） 4 九州地区国立大学法人等職員採用事務系（図書業務）二次採用試験	6 オープンキャンパス図書館開放	3 第1回芸術工学図書館運営委員会 4 オープンキャンパス図書館開放		4 オープンキャンパス図書館開放「探検！九大図書館」 9 喫天空広場Q-Commonsでの図書館サービス終了
9	21 第4回法学部図書委員会（書面回議） 29 伊都キャンパス中央図書館開館式典				10 第3回伊都図書館運営委員会（書面回議）
10	1 伊都キャンパス中央図書館グランドオープン 31 第1回中央図書館運営委員会	9 第2回医学図書館運営委員会（書面回議） 26 第66回九州地区医学図書館協議会総会 日本医学図書館協会九州・沖縄地区会総会			1 「伊都図書館」から「理系図書館」へ再改称、看板掲式
11		16 第26回九州地区医学図書館員セミナー	19 第2回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）	5 第2回筑紫図書館運営委員会	
12	14 国際シンポジウム「高等教育の国際化と大学図書館：アジアを拠点としたトップブランドへ」 15・16 ALIRG2018 (10th Asia Library and Information Research Group Workshop)				
H31 (2019) 1	30 ライブラリーサイエンス専攻シンポジウム「オープンデータと大学」	25 第3回医学図書館運営委員会			
2	8 「東アジアの交流と文学」シンポジウム・公開講座「物語のく終わり/始まり」：文学の現在、わたしたちの未来」	6 日本医学図書館協会賞・奨励賞選考委員会		25 第3回筑紫図書館運営委員会	8 第1回理系図書館運営委員会（書面回議）
3	1 附属図書館事務部における Backlog 導入	15 第4回医学図書館運営委員会	14 第3回芸術工学図書館運営委員会（書面回議）		13 第2回理系図書館運営委員会（書面回議）

記録資料館	教材開発センター	全学会議	関係団体会議等への出席
		13 教育改革推進本部運営会議、合同部門会議	19 第48回九州地区国立大学図書館協会総会（ホテルウェルビューかごしま） 20 第69回九州地区大学図書館協議会総会（ホテルウェルビューかごしま）
	7 FD 電子教材著作権講習会（伊都キャンパス、病院キャンパス） 21 第1回教材開発センター運営委員会		14 国立大学図書館協会春季理事会（東京大学） 25 福岡県・佐賀県大学図書館協議会総会（国際医療福祉大学） 17 大学ICT推進協議会総会（東京ビッグサイト） 29 大学学習資源コンソーシアム総会・運営委員会（東京）
	13 西南学院中学校・高等学校訪問	5 教育改革推進本部運営会議 26 第1回九州大学学術情報リポジトリ専門委員会（書面回議）	14・15 国立大学図書館協会総会（京王プラザホテル札幌）
24 第36回記録資料館運営委員会	23 JMOOC 講座「昆虫学入門」（～8/20）	10 館長会議 10 第226回附属図書館商議委員会 6 教育改革推進本部運営会議	4 糸島市連携協議会（九州大学） 24 JOCW 総会（東京・北海道大学サテライトオフィス）
			6・7 国立大学図書館協会地区協会助成事業「平成30年度九州地区目録講習会」（熊本大学）
1 伊都キャンパス中央図書館にて記録資料館開館		5 教育改革推進本部運営会議	19 平成30年度国立大学図書館協会シンポジウム（神戸大学） 26 九州地区国立大学図書館協会実務者連絡会議（鹿屋体育大学） 30 EDUCAUSE 年次大会（米国デンバー・国際会議場）（～11/2）
		9 教育改革推進本部運営会議	12 国立大学図書館協会秋季理事会（京都大学） 12 国立七大学附属図書館協議会（京都大学） 30 九州地区国立大学附属図書館館長・事務（部・課）長会議（九州大学） 19-21 大学ICT推進協議会年次大会（札幌コンベンションセンター）
	20 第2回教材開発センター運営委員会（書面回議） 25 FD 電子教材著作権講習会（伊都キャンパス、馬出キャンパス） 25 FD 電子教材開発者向け講習会（伊都キャンパス）	4 館長会議 4 第227回附属図書館商議委員会 5 第1回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 7 教育改革推進本部運営会議	22 Q-Conference2018（九州大学）
		29 第2回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会 11 教育改革推進本部運営会議、合同部門会議	
	14 第3回教材開発センター運営委員会（書面回議）		
6 第37回記録資料館運営委員会 22 第38回記録資料館運営委員会	22 M2B 講習会（伊都キャンパス）＜主催：基幹教育院＞ 25 M2B 講習会（筑紫キャンパス、大橋キャンパス）＜主催：基幹教育院＞ 26 M2B 講習会（馬出キャンパス）＜主催：基幹教育院＞ 27 M2B 講習会（伊都キャンパス）＜主催：基幹教育院＞	11 教育改革推進本部運営会議 22 第3回電子ジャーナル等検討専門委員会専門部会	1 国立大学図書館協会地区協会助成事業「平成30年度九州地区研修（電子書籍の購読と利用促進）」（鹿児島大学） 18 大学学習資源コンソーシアム・セミナー（千葉大学）

令和元(2019)年6月発行

編集発行 九州大学附属図書館
〒819-0395 福岡市西区元岡744
TEL(092)802-2471 (図書館企画課企画係)

製 作 城島印刷株式会社

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp>

